SHARP®

1ビットMD/CDシステム

形名 SD-FX30（エス ディー エフエックス）

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

1 はじめに
2 準備
3 CD・MD ラジオの聞きかた
4 CDやMDのいろいろな聞きかた
5 MDへの録音
6 MDのグループ録音・再生
7 MDの編集
8 便利
9 参考

もくじ

1 はじめに

初めて使うときは必ずお読みください。

ページ
おもな特長 4
付属品について 4
安全に正しくお使いいただくために ... 5
各部のなまえ 9

2 準備

操作を始める前に必要な内容です。

AMループアンテナをつなぐ .. 12
電源コードをつなぐ 12
リモコンに乾電池を入れる 13
電源を入れる 13
表示の設定を切り換える
（明るさの切り換え、
デモ表示の設定と解除）......... 14
時計を合わせる 15

3 CD・MD・ラジオの聞きかた

基本的な再生操作と音の調整です。

CDを聞く 16
MDを聞く 18
ラジオ放送を聞く 20
放送局を登録して聞く 21
音量や音質をお好みに合わせる ... 22

4 CDやMDのいろいろな聞きかた

必要なときにお読みください。

ページ
CDやMDをくり返して聞く・
順不同で聞く
（リピート再生・ランダム再生）.... 23
CDやMDの好きな曲だけを
登録して聞く（プログラム再生）... 24
CDやMDの表示内容を
切り換える 25

5 MDへの録音

太文字部分は、MDへの基本的な録音操作です。

MDに録音する前に 26
MDの録音モードや
録音残り時間について 28
いろいろな録音方法について 29
CDの1曲目からまるごと
MDへ録音する 30
CDの好きな曲を登録して
MDへ録音する 32
CDの曲番を選んで、その曲以降や
曲の途中からMDへ録音する ... 33
ラジオ放送からMDへ
録音する 34
録音済みMDの先頭に録音する ... 36
MDに録音した曲を消す 37

ページ

6
MDの
グループ録音・再生
グループ分けするときにお読みください。

MDへグループに分けて録音する 38
グループ録音したMDを聞く .. 40

7
MDの
編集
録音したMDにタイトルをつける方法などを説明しています。

録音したMDにタイトルをつける 42
MDのタイトルをメモして、他のMDにコピーする 44
入力したタイトルを消す 45
録音したMDを編集する 46
グループ録音したMDを編集する 48

ページ

8
便利
タイマーや他の機器を使うときの説明をしています。

タイマーを使う前に 51
タイマー再生やタイマー録音を使う 52
タイマーの確認や解除、再設定のしかた 54
おやすみタイマーを使う 55
ポータブル機器などの再生音を聞いたり、録音する 56

9
参考
特に、「Q&A集」や「故障かな？」の説明は、しっかりとお読みください。

CDについて 59
MDについて 60
MDのシステム上の制約........... 61
音楽著作権について 61
よくあるご質問 **Q & A集 62**
こんな表示が出たときは 63
「故障かな？」と思ったら 64
お手入れについて 66
仕様 67
保証とアフターサービス 68
お客様ご相談窓口のご案内 69
《修理品引き取りサービス》のご案内 ... 70

おもな特長

☞ P.22

高音質で迫力のある音で聞きたい

1ビットデジタルアンプ搭載だから高音質で楽しめます。また、サウンドエンハンサーやサラウンド設定で音にメリハリや広がりができます。

☞ P.56

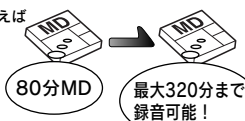
携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーに記録した音楽を聞きたい

音声出力が小さい機器にも対応してノーマル／ハイの「2モード入力感度切換」により迫力あるサウンドで楽しめます。

☞ P.28

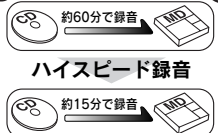
1枚のMDにたくさんの曲を録音したい

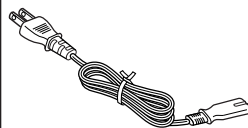
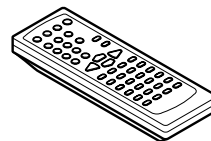
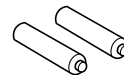
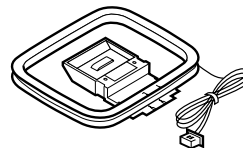
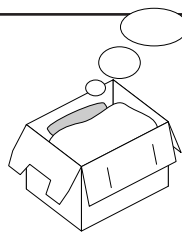
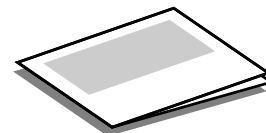
標準録音の２倍または、４倍の長時間録音が可能です。

たとえば
80分MD → 最大320分まで録音可能！

☞ P.30

短い時間で録音したい

CDからMDへハイスピード録音（約4倍速）することができます。

ハイスピード録音

付属品について

SD-FX30

電源コード×１（約1.5m）	リモコン送信機×１	単3乾電池×２（リモコン送信機用）
（☞ P.12）	（☞ P.13）	（☞ P.13）

AM用ループアンテナ×１	取扱説明書（保証書付）×１
（☞ P.12）	

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- この製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

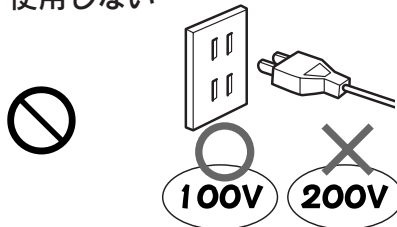
	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

	この記号は**気をつける必要がある**ことを表しています。
	この記号は**してはいけない**ことを表しています。
	この記号は**しなければならない**ことを表しています。

⚠警告

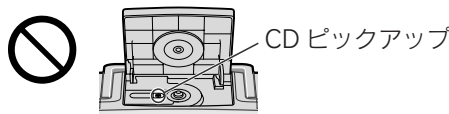
電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

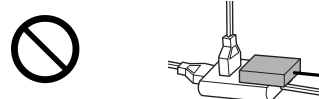
CD ピックアップについて

CD ピックアップの光源を直視しない

目を痛める原因となります。

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

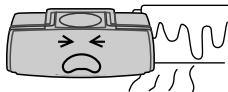
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク挿入口など）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所､湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

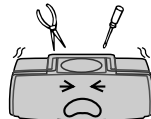
近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり､中に入ると､火災･感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷について

雷が鳴りだしたら…
安全のため、製品にさわらないでください

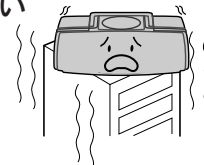
感電の原因となります。

屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら…
FMロッドアンテナをたたみ、AMアンテナをはずして、使用を中止してください

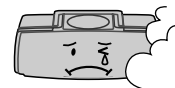
落雷の原因となります。

⚠注意

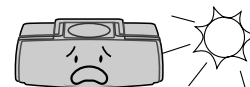
置き場所について

不安定な場所に置かない

落ちたりして､けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車等､直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

⚠注意

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所、ほこりの多い所で使用しない

焼損・発火や事故の原因となることがあります。

特殊な CD について

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

CD を取り出すときは

再生を止めたあと、CD ブタを開けてください

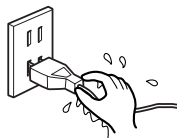
けがをしたり、CD を痛める原因となることがあります。

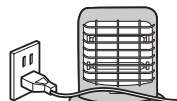
電源コードの取り扱いについて

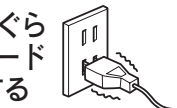
プラグを抜くときは
コードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

持ち運ぶときは

落としたり、衝撃を与えない

万一、落としたり、キャビネットを破損したときは、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

アンテナをのばしたまま持ち運ばない

アンテナが引っかかったり、目に当たったりして、けがや事故の原因となります。

⚠注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

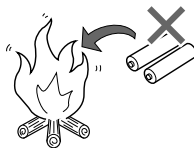
乾電池は幼児の手の届く所に置かない

乾電池を飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

乾電池の液が漏れたときは素手で触らない

- 乾電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

乾電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない
また、乾電池は充電しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の乾電池を使わない
新しい乾電池と古い乾電池または種類の違う乾電池を混ぜて使わない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を使いきったときや、長時間使わないときは、乾電池を取り出す

乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

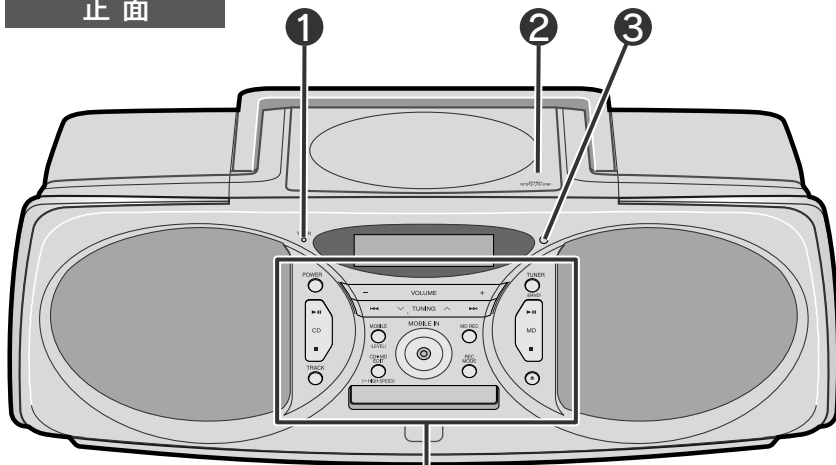
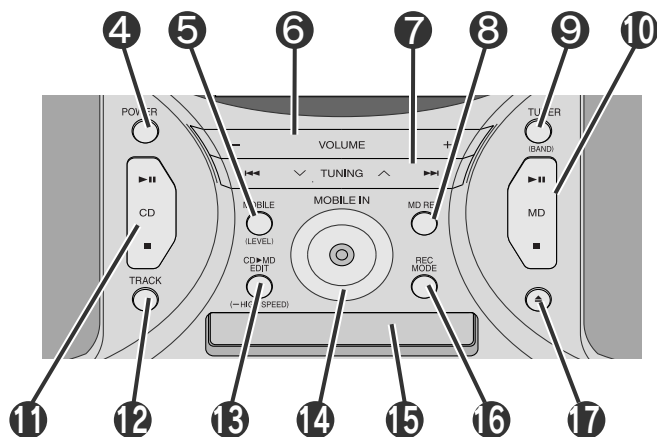
その他

- **水に濡らさない**
- **ハンダ付けしない**
- **金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない**

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。CDからMDに試し録音をするときは、ノーマルスピードで録音してください。
（☞**ハイスピード録音について P.27**）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.69）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

各部のなまえ

SD-FX30

正面

正面（操作部）

参照ページ

❶ タイマー設定表示ランプ（TIMER） 53
❷ CD ブタ 16
❸ リモコンセンサー 13
❹ 電源ボタン（POWER） 13
❺ モバイル / レベル切換ボタン
（MOBILE/LEVEL） 56
❻ 音量ボタン 22
【左側】音量ダウン（VOLUME －）
【右側】音量アップ（VOLUME ＋）
❼ 【左側】CD・MD 早戻し、頭出し / チューニング
ダウンボタン（|◀◀ TUNING ∨） .... 17、19、20
【右側】CD・MD 早送り、頭出し / チューニング
アップボタン（▶▶| TUNING ∧） .... 17、19、20
❽ MD 録音ボタン（MD REC） 34
❾ チューナー / バンド切換ボタン（TUNER/BAND） 20
❿ 【上側】MD 再生 / 一時停止ボタン（MD ▶❚❚） .... 18、19
【下側】MD 停止ボタン（MD ■） .... 18、19
⓫ 【上側】CD 再生 / 一時停止ボタン（CD ▶❚❚） .... 16、17
【下側】CD 停止ボタン（CD ■） .... 16、17
⓬ マイトラックエディット
/ デモ表示ボタン（TRACK） .... 14、32
⓭ CD➜MD エディット（ノーマル / ハイスピード）ボタン
（CD➜MD EDIT -HIGH SPEED） 30
⓮ モバイル入力端子（MOBILE IN） 56
⓯ MD 挿入口 18
⓰ MD 録音モードボタン（REC MODE） 28
⓱ MD 取出しボタン（⏏） 19

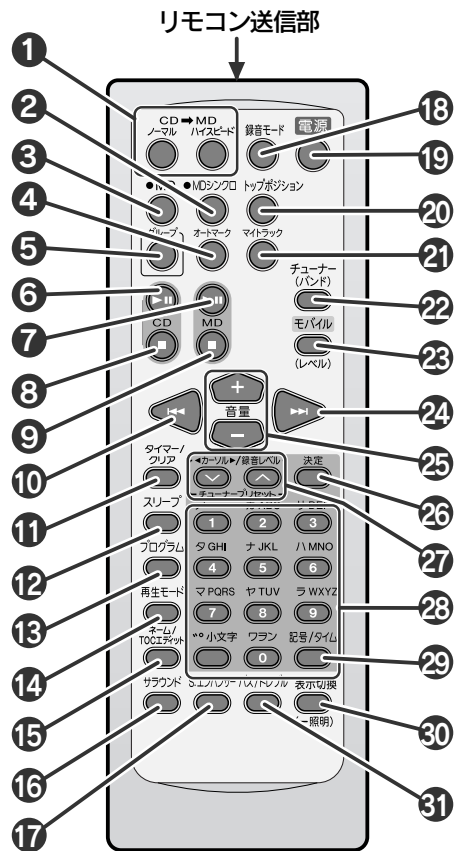
各部のなまえ（続き）

正 面（表示部）

背 面

参照ページ

- ❶ 日付表示 （DATE） 15
- ❷ 時計表示 （CLOCK） 15
- ❸ 時間 / レベルメーター / 文字 / 周波数表示 25
- ❹ スリープ表示（SLEEP） 55
- ❺ FM ステレオ受信表示（ST） 20
- ❻ プログラム表示（PROGRAM） 24
- ❼ リピート再生表示（1） 23
- ❽ ランダム再生表示（RANDOM） 23
- ❾ トップポジションエディット表示（） 36
- ❿ サラウンド表示（SURROUND） 22
- ⓫ グループ表示（GROUP） 38
- ⓬ ワンスタイマー再生(ONCE)/ 録音表示(ONCE REC) 53
- ⓭ デイリータイマー再生(DAILY)/ 録音表示(DAILY REC) 53
- ⓮ MD 録音モード表示（SP/LP2/LP4/MP） 28
- ⓯ 入力切換表示（MD / CD / TUNER） .... 16、18、20
- ⓰ FM ステレオモード表示（STEREO） 20
- ⓱ マイトラックエディット表示（T-EDIT） 32
- ⓲ サウンドシンクロ録音表示（S-SYNC） 57
- ⓳ アナログ録音表示（ANALOG） 31
- ⓴ トック表示（TOC） 26
- ㉑ CD/MD 再生表示（▶） .... 16、18
- ㉒ 録音 / 録音一時停止表示（● ❚❚） 33
- ㉓ AM アンテナ端子 (AM ANTENNA） 12
- ㉔ ヘッドホン端子 (PHONES） 58
- ㉕ FM ロッドアンテナ 20
- ㉖ AC 電源ソケット (AC INPUT） 12

リモコン

参照ページ

1 CD ➡ MD エディット（ノーマル/ハイスピード）ボタン 30
2 MD サウンドシンクロ録音ボタン（● MD シンクロ）...................... 57
3 MD 録音ボタン（● MD）...... 31、33
4 オートマークボタン 35
5 グループボタン 38
6 CD 再生/一時停止ボタン（▶II）.... 16
7 MD 再生/一時停止ボタン（▶II）.... 18
8 CD 停止ボタン（■）.................. 16
9 MD 停止ボタン（■）.................. 18
10 チューニングダウン/CD･MD 早戻し、頭出しボタン（I◀◀）...................... 17、19、21
11 タイマー/クリアボタン .... 15、24、52
12 スリープボタン 55
13 プログラムボタン 24
14 CD・MD 再生モードボタン 23
15 ネーム/TOC エディットボタン 42
16 サラウンドボタン 22
17 サウンドエンハンサー切換ボタン ... 22

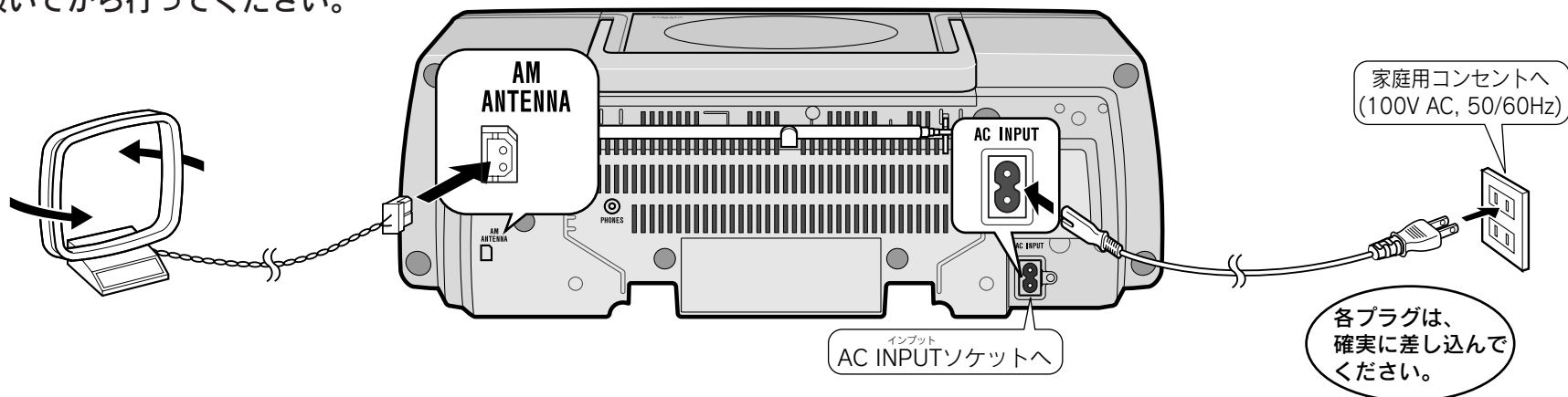
参照ページ

18 録音モード切換ボタン 28
19 電源ボタン 13
20 トップポジションボタン 36
21 マイトラックエディットボタン 32
22 チューナー/バンド切換ボタン ... 21
23 モバイル/レベル切換ボタン....... 56
24 チューニングアップ/CD･MD 早送り、頭出しボタン（▶▶I）...................... 17、19、21
25 音量ボタン（＋/－）................ 22
26 決定ボタン .... 15、17、19、21、24
27 カーソル/録音レベル/チューナープリセットボタン ..... 15、21、33、56
28 文字入力/CD・MD・チューナーダイレクトボタン ... 17、19、21、24、42
29 記号/タイムボタン .... 25、43
30 表示切換/照明切換ボタン ... 14、25
31 バス/トレブルボタン 22

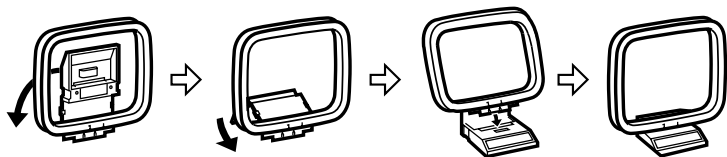
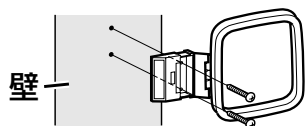
AM用ループアンテナをつなぐ

接続するときは、必ず電源コードを
抜いてから行ってください。

電源コードをつなぐ

付属の電源コードをつなぐ。

組み立てかた

壁に取り付けることができます

ネジは付属して
いません。

節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。

ご注意

- 電源コードを抜くときは、**電源を切ってから**プラグを持って抜いてください。線を引っ張ると断線の原因となります。
- 電源コードを抜くと時計が止まり、1日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。
- **付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**故障や事故の原因となります。

お知らせ

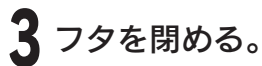
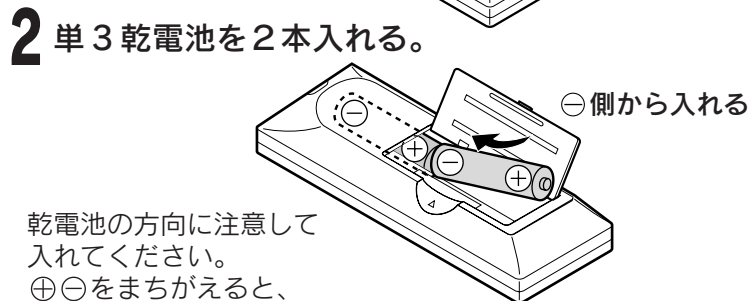
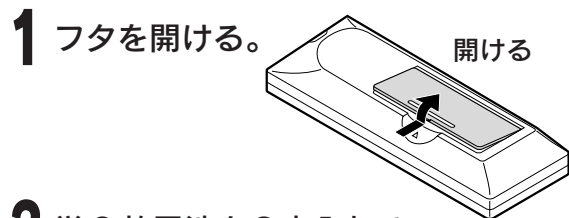
- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- この製品をテレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品が誤動作したり、雑音が入ったりすることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。

リモコンに乾電池を入れる

1 フタを開ける。

2 単３乾電池を２本入れる。

乾電池の方向に注意して
入れてください。
⊕⊖をまちがえると、
故障の原因となります。

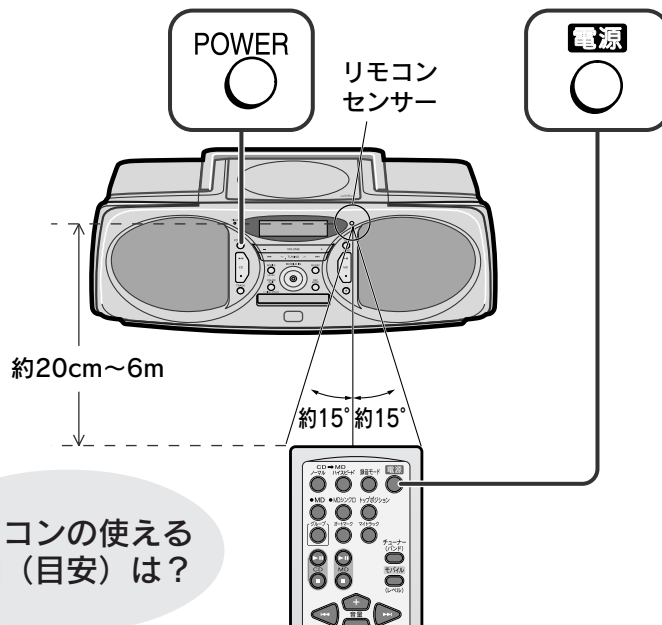
3 フタを閉める。

リモコン用乾電池の交換時期は？

通常のご使用で約１年です。
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは､乾電池を交換してください。

お知らせ

- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電池では正しく動作しません。
- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。操作ができなくなります。
- リモコンセンサーや送信部にほこりがたまると､動作しにくくなることがあります。やわらかい布でふきとってください。

電源を入れる

POWER（本体）または 電源（リモコン）を押す。

電源を切るには…

もう一度、POWER または 電源 を押す。

お知らせ

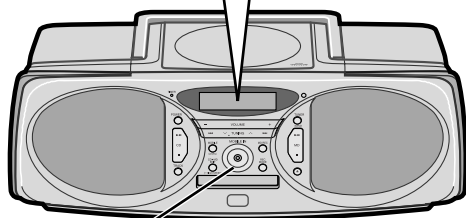
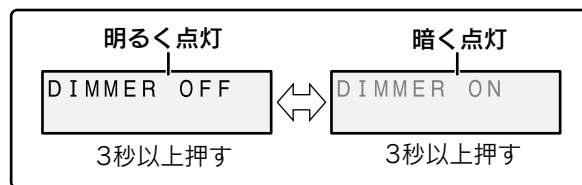
- 電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、またはリモコンに乾電池が正しく入っているか確認してください。
- 電源を切ったあとの２～３秒は、すぐに電源が入りません。

表示の設定を切り換える

■表示の明るさを変えたいとき（2 段階）

電源を入れて、

リモコンの 表示切換（ー照明） を 3 秒以上押す。

押すたびに次のように切り換わります。

お知らせ

- 「DIMMER ON」に設定すると、イルミネーションは消灯します。
- デモ表示中に明るさを変えることはできません。

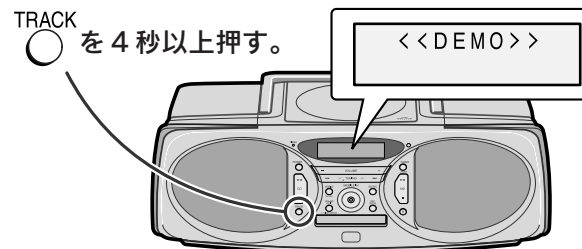
■デモ表示に設定したいとき

お買いあげ時は、デモ表示は解除されています。

電源を切ったときに、表示部が自動的に点灯し、いろいろな表示内容に変わることをデモ表示と呼びます。

はじめに POWER を押し、電源を切ります。
（電源を切った状態で操作します。）

デモ表示にするには（設定）

TRACK を 4 秒以上押す。

表示部に《DEMO》の文字が点灯し、いろいろな表示内容に変わります。

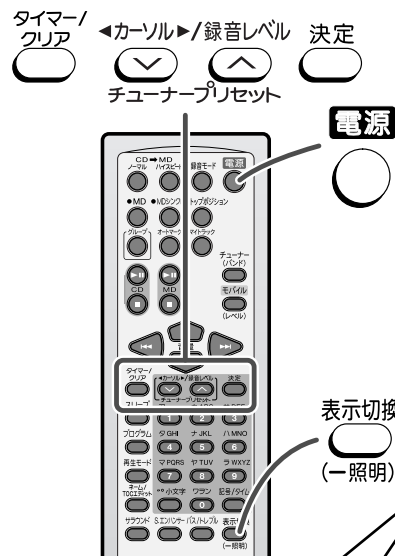
デモ表示をやめるには（解除）

デモ表示中に、TRACK を押す。

表示部に、“DEMO OFF”の文字が点灯し、そのあと電源が切れます。

リモコンの マイトラック を押しても、デモ表示の設定や解除ができます。

時計を合わせる

日付・時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマーが使用できるようになります。
(☞ P.52)
また、MDに録音したとき、録音日時が自動的にMDに記録されます。(**録音日時 ☞ P.25**)

操作の途中で、間違った設定をしたときには…
タイマー/クリア を押して、設定を解除したあと、もう一度操作2からやり直してください。

(例) 2005年12月25日　午前9時に合わせるとき

1 電源
電源を入れる。

2 タイマー/クリア
押す。

TIME ADJUST
“TIME ADJUST”と表示されたときは、操作3を行います。

ONCE TIMER
“ONCE TIMER”と表示されたときは、◀カーソル▶/録音レベル で時刻表示を選んだあと、操作3を行います。

AM 9:00

3 決定
1分以内に…
押す。

'00 01. 01

4 ◀カーソル▶/録音レベル → 決定
「年」を合わせる。
2005年は、「05」と合わせてください。
押す。

'05 01. 01
「年」

5 **操作4と同じようにして、「月」「日」「時」「分」をそれぞれ合わせます。**

'05. 12 25
「月」「日」

AM 9 00
「時」「分」

- “分”を設定したあとは、数秒後、もとの表示に戻ります。
- 時刻は12時間制で表示されます。
時計には、午前(AM)/午後(PM)の区別があります。
AM 0:00→夜の12時/PM 0:00→昼の12時

日付や時刻を修正するには…
電源を入れ、操作2から行ってください。

時刻を確認するには

電源が入っているとき

❶ **リモコンの タイマー/クリア を押す。**

❷ **◀カーソル▶/録音レベル で時刻表示を選ぶ。**
約1分表示されて、もとの表示に戻ります。すぐにもとの表示に戻すには、もう一度 タイマー/クリア を押します。

電源が切れているとき

リモコンの 表示切換(一照明) を押す。
時刻が約5秒表示されます。

お知らせ
- 時計の精度には、若干の誤差がありますので、時刻の修正を定期的に行うことをおすすめします。
- この製品の時計(年・月・日)は、2000年1月1日～2099年12月31日まで対応しています。
- **電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計が止まります。時計を合わせ直してください。**

ＣＤを聞く

1 CDを入れる。

PUSH
OPEN/CLOSE

ふたの開け閉めは
この部分を押す。

印刷面を上に

音楽用 CD-R や
CD-RW も再生できます。
（☞P.59）

2 電源を入れる。

POWER
押す

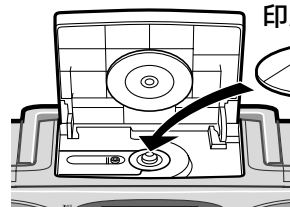
3 入力を「CD」にする。

CD
押す

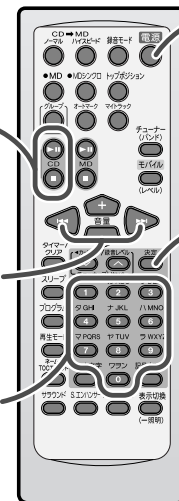
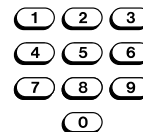
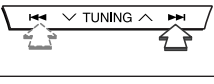
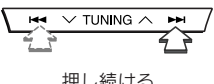
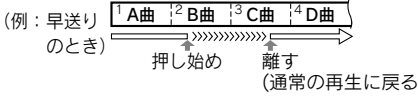
12　54:09
CD

音量の調整
☞ P.22

4 再生する。

押す
CD

1曲目から順に再生が
始まります。

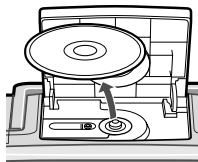
1　0:05

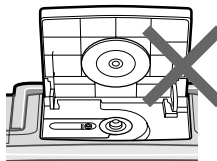
最後の曲の再生が終わると、
停止します。

お知らせ............................
- MP3、WMA、WAVEなどのデータが入ったCDは再生できません。
- CD TEXT には対応していません。

CD のいろいろな操作

	本　体	リモコン	
再生する	►II CD	►II CD	押す。
停止する	CD ■	CD ■	押す。
一時停止する	►II CD	►II CD	**再生中に押す。** 一時停止中に操作すると、再生に戻ります。
曲の頭出しをする	⏮ ∨ TUNING ∧ ⏭ （例：再生中のとき） 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押す └選んだ曲の頭から再生	⏮ ⏭	**再生中に押す。** くり返して押すと、選んだ曲の頭から再生します。 停止中に押すと、曲番を選ぶことができます。
早送りや早戻しをする	⏮ ∨ TUNING ∧ ⏭ 押し続ける （例：早送りのとき） 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押し始め 離す（通常の再生に戻る）	⏮ ⏭ 押し続ける	**再生中に押し続ける。** 指を離すと、その位置から再生します。
聞きたい曲から聞く（ダイレクト再生）		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ⇩ 決定	**停止中または再生中に曲番を選び、決定を押す。** 指定した曲番から再生が始まります。 **曲番の選びかた** 10 曲目以降の選びかた 例） 10 曲目　：1 0 → 決定 28 曲目　：2 8 → 決定

CD の取り出しかた

❶ CD を停止させる。
❷ 回転が止まるのを待つ。（3 ～ 4 秒）
❸ CD ブタを開ける。

ご注意

• 再生しているときに CD ブタを開けないでください。CDを傷めたり、故障の原因となることがあります。

• CD ブタを開けるときは、ハンドルを倒しておいてください。

お知らせ

• 本体に衝撃を与えたり、振動しやすい場所で使うと、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
• CD の内容によっては、音量の上げすぎで音とびを起こすことがあります。
そのときは、音量を少し下げてお聞きください。
• キズがついていたり、汚れているCDを使うと、音とびの原因となります。
• ランダム再生（☞P.23）やプログラム再生（☞P.24）を設定しているときは、ダイレクト再生することはできません。

ＭＤを聞く

1 POWER 押す

電源を入れる。

2 MD ■ 押す

入力を「MD」にする。

MD NO DISC

MD

3 録音済みのMDを入れる。

1.矢印マークのついている面を上にする。
2.矢印の方向に入れる。

ベストヒット　→　12　58：23

ディスク名がついているときに表示

総曲数　総再生時間

4 ►II 押す MD

再生する。

1曲目から順に再生が始まります。

1　0：05

音量の調整 ☞ P.22

最後の曲の再生が終わると、停止します。

MDLP対応だから…

モノラル長時間録音や２倍・４倍長時間（ステレオ）で録音された曲も再生できます。

電源

MD

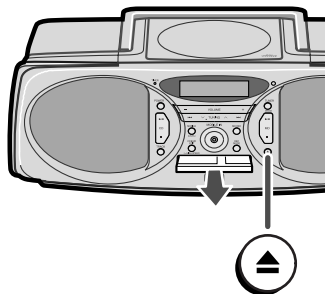
決定

MD のいろいろな操作

	本 体	リモコン	
再生する	►II MD	►II MD	押す。
停止する	MD ■	MD ■	押す。
一時停止する	►II MD	►II MD	**再生中に押す。** 一時停止中に操作すると、再生に戻ります。
曲の頭出しをする	◄◄ ∨ TUNING ∧ ►►I （例：再生中のとき）1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押す ↳選んだ曲の頭から再生	I◄◄ ►►I	**再生中に押す。** くり返して押すと、選んだ曲の頭から再生します。 停止中に押すと、曲番を選ぶことができます。
早送りや早戻しをする	◄◄ ∨ TUNING ∧ ►►I 押し続ける （例：早送りのとき）1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押し始め 離す（通常の再生に戻る）	I◄◄ ►►I 押し続ける	**再生中に押し続ける。** 指を離すと、その位置から再生します。
聞きたい曲から聞く（ダイレクト再生）		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ⇩ 決定	**停止中または再生中に曲番を選び、決定を押す。** 指定した曲番から再生が始まります。 **曲番の選びかた** 10 曲目以降の選びかた 例） 10 曲目 ：1 0 → 決定 28 曲目 ：2 8 → 決定 105 曲目 ：1 0 5 → 決定

MD の取り出しかた

❶ MD を停止させる。

❷ ⏏ を押す。

ご注意

- **MDを入れるときは、必ず電源を入れておいてください。**
  電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。
- **製品を移動させるときは、必ず MD を取り出し、電源を切ったあとで電源コードを抜いてください。**
  MDを入れたまま移動させると、MDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

お知らせ

- 使用中は、MD が温かくなりますが、異常ではありません。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。
- ランダム再生（☞P.23）やプログラム再生（☞P.24）を設定しているときは、ダイレクト再生することはできません。

3

MDを聞く

ラジオ放送を聞く

1 POWER 押す 電源を入れる。

2 TUNER (BAND) 押す 入力を「TUNER」にする。

FM 76.0 TUNER

3 TUNER (BAND) 押す ラジオバンドを切り換える。
（くり返し押す）

FM(ステレオモード) FM 76.0 STEREO → FM(モノラルモード) FM 76.0 → AM AM 1098

4 ⏮ ∨ TUNING ∧ ⏭ 押す 放送局を選ぶ。

手動同調：ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

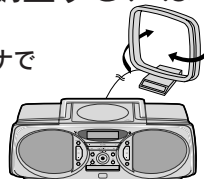
自動同調：ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局だけを選んで自動的に受信します。
自動同調を途中で止めたいときは、もう一度ボタンを押す。

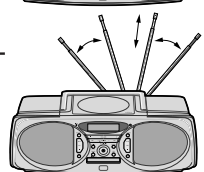
電源

チューナー（バンド）

■ アンテナを調整するには

AM 放送

AM用ループアンテナで調整します。
できるだけ本体から離れた位置で、方向を変えてください。

FM 放送

FM ロッドアンテナで調整します。
長さや方向を変えてください。

■ FM ステレオ放送を受信すると

FM ステレオモードを選んでいるときに、FM ステレオ放送を受信すると、"ST" が点灯します。

FM 76.0 ST

FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと "ST" が点灯しません。
FMモノラルモードに切り換えて受信すると、聞きやすくなります。

■ TV 音声について

- テレビの1～3チャンネルの音声が聞けます。（FM 95.75 MHz、FM 101.75 MHz、FM 107.75 MHz）
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM 放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、FM放送が混信することがあります。
- 音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声はモノラルで受信されます。
- 地上デジタル放送は受信できません。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令として決定されています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。

放送局を登録して聞く

AM 放送と FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。
FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも登録されます。

■ 放送局を登録するには

1 登録したい放送局を受信する。
(☞ P.20)

2 決定 押す。
(5 秒以内に次の操作へ)
登録モード P 1 78.0

3 チューナープリセット 登録する番号を選ぶ。
P 2 78.0
5 秒以内に…
決定 押す。
P 2 78.0
すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

4 他の放送局を登録するには、
操作 1 ～ 3 をくり返す。

登録したら

■ 登録した放送局を呼び出すには

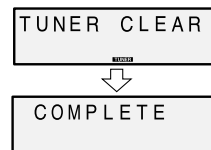
1 チューナー(バンド) 押す。

2 0 ～ 9 登録した番号を選び、
10 秒以内に決定を押す。
P-2 76.0
決定
P 2 78.0

チューナープリセット を押して、呼び出すこともできます。

■ 登録した放送局をすべて消すには

❶ タイマー/クリア を 4 秒以上押す。

❷ 10 秒以内に…
決定 を押す。

ご注意

一日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。
そのときは、もう一度登録し直してください。

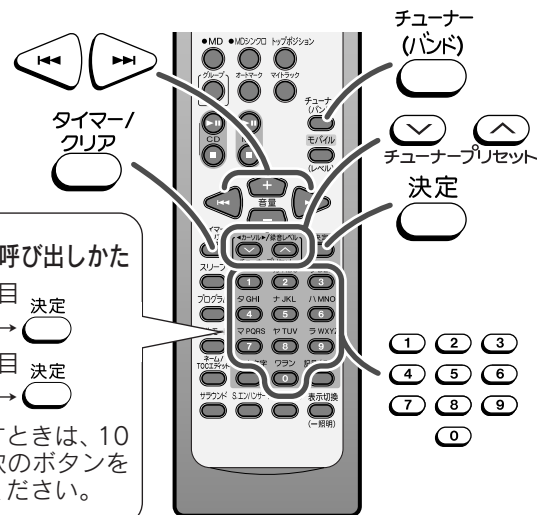
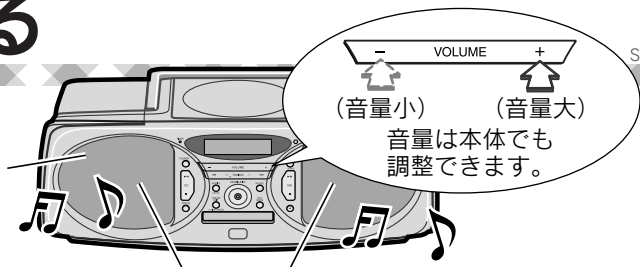
お知らせ

- AM 用ループアンテナは、本体や電源コードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
このときは、手動同調をお使いください。

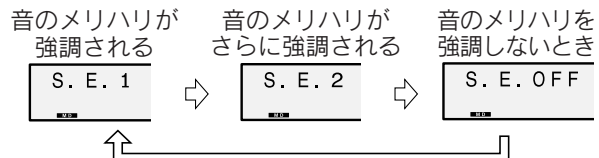
10 局目以降の呼び出しかた

例）10 局目 1 0 → 決定

例）28 局目 2 8 → 決定

続けて押すときは、10 秒以内に次のボタンを操作してください。

音量や音質をお好みに合わせる

音にメリハリをつけるには

S.エンハンサー をくり返し押す。

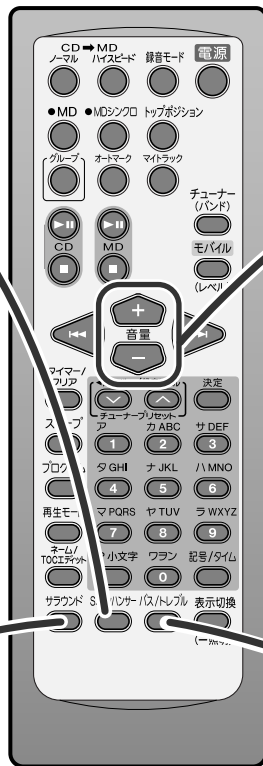
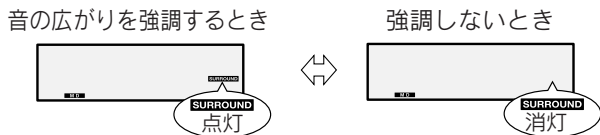
音のメリハリが強調される		音のメリハリがさらに強調される		音のメリハリを強調しないとき
S. E. 1	⇨	S. E. 2	⇨	S. E. OFF

S. エンハンサーとサラウンドを同時に設定することはできません。

音の広がりを設定するには

サラウンド をくり返し押す。

音の広がりを強調するとき		強調しないとき
SURROUND 点灯	⇔	SURROUND 消灯

音量を調整するには

＋ 音量（音量大）または 音量 －（音量小）を押す。

VOLUME 20

音量 0（小）～ 30（MAXIMUM）（大）

低音(バス)・高音(トレブル)を変えるには

低音（バス）

❶ バス/トレブル をくり返し押して、“BASS”を選ぶ。

BASS 0

－3（弱）～ ＋3（強）

❷ 5秒以内に…

＋ 音量 または 音量 － を押して、強/弱を変える。

高音（トレブル）

❶ バス/トレブル をくり返し押して、“TREBLE”を選ぶ。

TREBLE 0

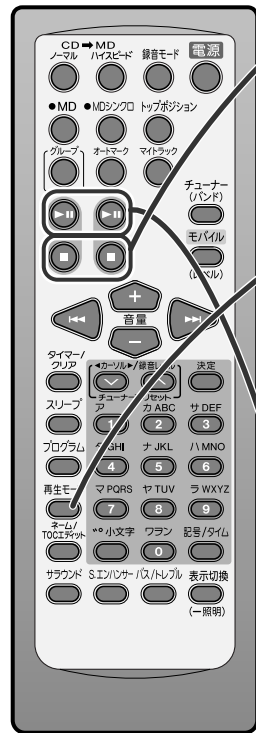
－3（弱）～ ＋3（強）

❷ 5秒以内に…

＋ 音量 または 音量 － を押して、強/弱を変える。

CDやMDをくり返して聞く・順不同で聞く（リピート再生・ランダム再生）

SD-FX30

リピート再生やランダム再生は、CDやMDで別々に設定することができます。

1 CDを聞くとき CD ■ MDを聞くとき MD ■ 聞きたい方を選ぶ。

2 再生モード 再生モードを選ぶ。（くり返し押す）

1曲だけをくり返し再生するときは

⏮ または ⏭ を押して、聞きたい曲を選び、"1-REPEAT" を選んでください。

3 CDを聞くとき CD ▶II MDを聞くとき MD ▶II 再生する。

ノーマル再生 (NORMAL)	全曲を再生したあと、停止します。
1曲リピート再生 (1-REPEAT)	1曲をくり返し再生します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 停止するまでくり返す
全曲リピート再生 (ALL REPEAT)	全曲をくり返し再生します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 停止するまでくり返す
ランダム再生 (RANDOM)	全曲を順不同に再生したあと、停止します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 順不同に再生

聞きたい曲だけをくり返して聞くには

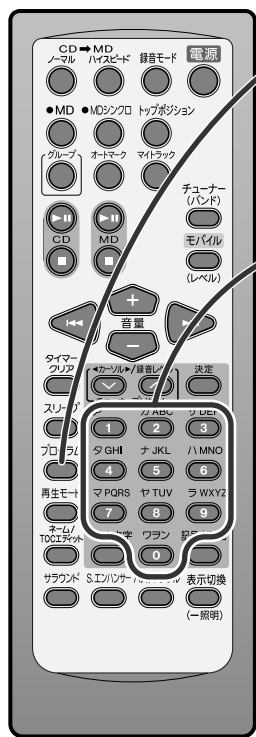
プログラム再生（☞ P.24）中に、1曲リピート再生または全曲リピート再生を選びます。（操作2）

お知らせ

- **リピート再生は、止めるまで続きます。お聞きになったあとは、必ず停止してください。**
- CDやMDの再生中に再生モードを切り換えると、その時点からリピート再生またはランダム再生が始まります。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。
- プログラム再生（☞ P.24）を設定しているときは、再生モード を押しても、ランダム再生は選べません。
- MDのリピート再生やランダム再生の設定は、MDの録音操作をすると、解除されます。
- ランダム再生中は ⏮ を押しても、聞いている曲以前への頭出しはできません。

CDやMDの好きな曲だけを登録して聞く（プログラム再生）

SD-FX30

CDやMDの好きな曲を、好きな順に再生することができます。
（CDとMDは別々に、それぞれ20曲まで登録できます。）

1 CDを聞くとき CD ■ MDを聞くとき MD ■ **聞きたい方を選ぶ。**

2 プログラム **押す。**

PROGRAM → P 1

PROGRAM点滅

3 0〜9 **登録したい曲番を指定して、決定を押す。**

決定

曲番の選びかた（☞P.17、19）

7 P 1 → 7 5:27

曲番　プログラム番号　再生時間

この操作をくり返し、登録したい曲番を順に指定する。（最大20曲）

4 CDを聞くとき CD ▶II MDを聞くとき MD ▶II **再生する。**

最後に登録している曲の再生が終わると、停止します。
停止すると、プログラム再生は解除されます。（"PROGRAM" 消灯）

- **MDの曲名を確認しながら登録するときは**
  0〜9を使うかわりに⏮または⏭を押して、曲番を選び、決定を押します。
- **登録中に曲番を間違えたときは**
  タイマー/クリアを押します。
  続けて押すと、順に取り消されます。

■ 停止後、同じ登録内容で再生するには

左の1、2、4の順に操作を行います。

■ 登録した順番を確かめるには

"PROGRAM" 点滅中に、◀カーソル▶/録音レベル ∨ ∧ を押す。

■ 曲を追加するには

左の操作1〜3をくり返します。
前に選んでいる曲のあとに追加されます。

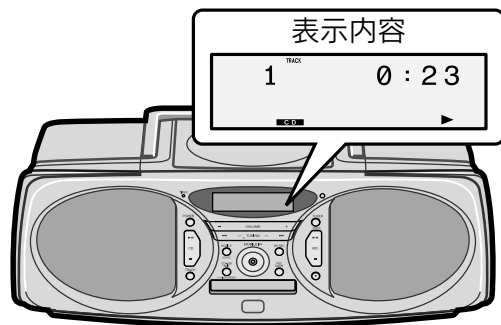
■ 登録をすべて取り消すには

1. CD ■ または MD ■ を押す。（取り消したい方を選ぶ。）
2. プログラムを押したあと、タイマー/クリアを3秒以上押す。

CDまたはMDの全曲の登録が取り消されます。

お知らせ

- **CDを取り出したり、電源を切ると、CDの曲の登録が消えます。**
- **MDを取り出したり、MDに録音すると、MDの曲の登録が消えます。**
- 登録中に、"OVER（オーバー）" と表示されたら、20曲登録されています。これ以上登録することはできません。
- MDの曲を登録するとき、表示部に " ▶GROUP（グループ）◀ " が点灯したら、消灯させてください。（☞P.40）
- 再生中や一時停止中には、曲を登録したり取り消すことはできません。
- CDの曲を登録しておけば、好きな曲だけをMDに録音することができます。

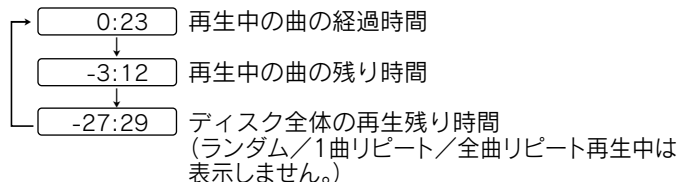
CD や MD の表示内容を切り換える

お知らせ

（※ 1）曲名が記録されている MD のときは、曲名を数秒間表示します。
（※ 2）グループ録音した MD のときは、選んだグループの総再生残り時間を表示します。
（※ 3）曲名が記録されていないときは、“NO NAME”（ノー ネーム）と表示します。
（※ 4）再生専用MDは表示しません。

- この製品に表示される時間は、ジャケットに記載されている時間や実際に時計で計った時間とは、異なることがあります。

記号/タイム（時間表示）を使って切り換える

CD や MD の再生中にくり返して押すと…

表示	内容
0:23	再生中の曲の経過時間
-3:12	再生中の曲の残り時間
-27:29	ディスク全体の再生残り時間（ランダム／1曲リピート／全曲リピート再生中は表示しません。）

CD や MD の停止中に、各曲の再生時間や総再生残り時間を確かめるには…

❶ ⏮ または ⏭ を押して曲番を選ぶ。

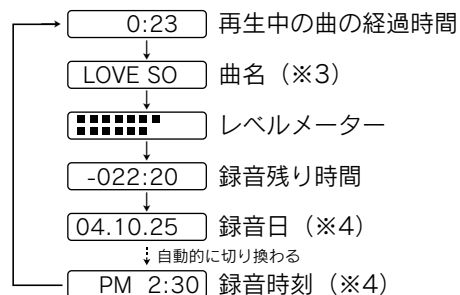
3:27	選んだ曲の再生時間（※1）

❷ 記号/タイム を押す。

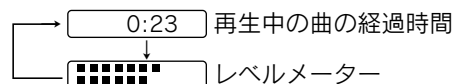
-24:17	選んだ曲以降の総再生残り時間（※2）

もう一度押すと操作❶の表示に戻ります。

表示切換（一照明）を使って切り換える

MD の再生中にくり返して押すと…

表示	内容
0:23	再生中の曲の経過時間
LOVE SO	曲名（※3）
▪▪▪▪▪▪▪	レベルメーター
-022:20	録音残り時間
04.10.25	録音日（※4）
PM 2:30	録音時刻（※4）

（04.10.25 → PM 2:30：自動的に切り換わる）

CD の再生中にくり返して押すと…

表示	内容
0:23	再生中の曲の経過時間
▪▪▪▪▪▪▪	レベルメーター

MDに録音する前に

試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。CDからMDに試し録音するときは、ノーマルスピードで録音してください。(☞ハイスピード録音について P.27)
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(☞ P.61)

ご注意

テレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くでは、録音しないでください。
録音に雑音が入ることがあります。
そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してお使いください。

お知らせ

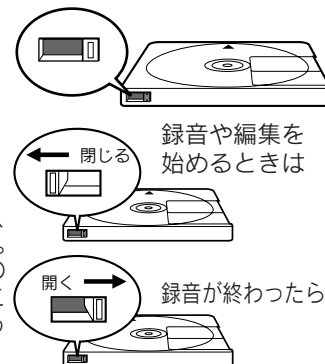
- 録音中に、音量や音質、サウンドエンハンサー、サラウンドなどを調整しても、録音には影響ありません。
  ただし、音量の上げすぎには注意してください。CDの内容によっては、音量の上げすぎで音とびを起こすことがあります。そのときは、音量を少し下げて録音してください。
- 録音中、本体に衝撃や振動を与えないでください。
  音とびを起こす原因となります。
- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）には録音できません。
- MDに録音をする前に日付・時刻を合わせておくと、録音した日時が記録されます。(録音中に、日付・時刻を合わせても、録音日時は記録されません。)
- Hi-MD専用のディスクは使用できません。

MDの誤消去防止について

何のためについているの？

大切な録音を誤って消さないために、録音用MDには、誤消去防止用のツマミがついています。

使いかた

大切な録音を誤って消さないためには、このツマミを開いた状態にしてください。開いた状態にすることで、録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。録音や消去などの編集を行うときは、このツマミを閉じてください。

MDのTOC（トック）(Table of Contents)について

録音や編集をすると、画面に"TOC（トック）"が表示されます。TOCとは、曲番や音声を認識するための目次情報です。

再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。

"TOC"表示	意味	
TOC表示中 ⇩	録音や編集によって、TOCの情報が変更されていることを表しています。 **録音や編集した情報は、MDにはまだ記録されていません。**	未登録
TOC点滅中 ⇩	録音や編集した情報をMDに記録中です。 **このようなときに記録されます。** ● 録音を停止したとき ● 入力を切り換えたとき ● MDを取り出したとき ● 電源を切ったとき	記録中
消灯	**録音や編集した情報がMDに記録されました。**	記録完

ご注意

録音中や"TOC（トック）"が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、録音や編集した情報が記録されません。

MD のハイスピード録音について

この製品は、CD から MD へ録音をするとき通常の４分の１の時間で録音することができます。
ハイスピード録音では､著作権保護を目的とした制約があります。

「著作権保護を目的とした制約」

CD から MD へ一度ハイスピード録音をしたあと、再び同じ CD からハイスピード録音するときは､次に録音を始めるまでの待ち時間が必要となります。

同じ CD は、1 回目のハイスピード録音を開始してから、74 分経過した後で２回目のハイスピード録音が開始できます。

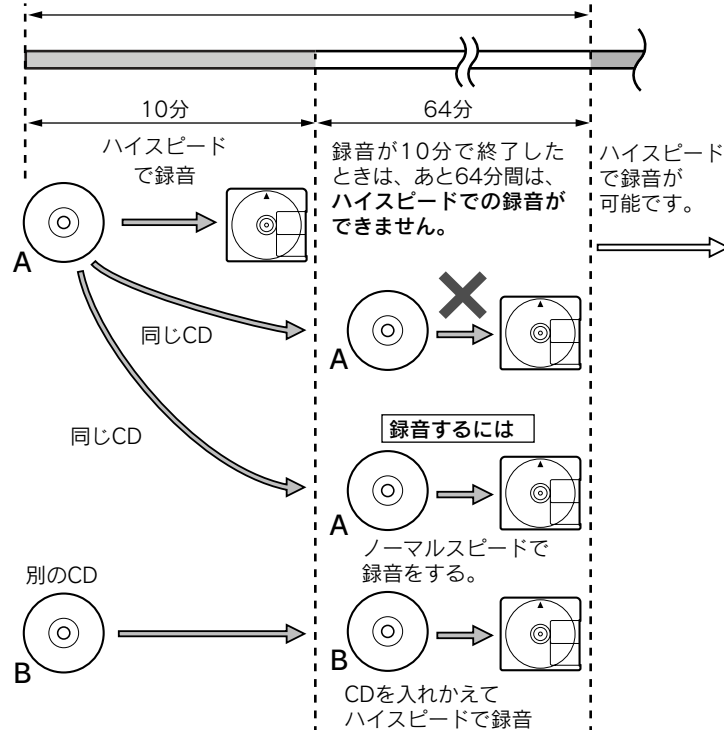
たとえば、CD から MD へのハイスピード録音が 10 分間で終了した場合、再び同じ CD からハイスピード録音をするときには、64 分間お待ちいただくことになります。

WAIT-64m GUARD

お待ちいただく時間（64 分）

同じ CD から 74 分以内に２回目の録音をしたい場合は、ノーマルスピードで録音してください。

次のようなときも、74 分間は、ハイスピードで録音をすることができません。

- ハイスピード録音を途中で止めたり、1 曲でもハイスピード録音した CD から、もう一度録音しようとしたとき。
- 20枚のCDからハイスピード録音したあと、21 枚目を録音しようとしたとき。
- ハイスピード録音したあと､リセット操作 (☞ P.66) をして、もう一度録音しようとしたとき。

お知らせ

- **ハイスピード録音中は、音は聞こえません。**
- CD によっては、ハイスピード録音の時間に誤差が生じる場合があります。

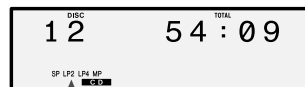
MDの録音モードや録音残り時間について

■ MDの録音モードを切り換えるには

録音を始める前に、MD の録音モードを合わせてください。

録音モードには SP、LP2、LP4、MP の 4 種類の方式があり、最大 4 倍の長時間録音ができます。

録音モード をくり返し押す。

DISC 12　TOTAL 54:09
SP LP2 LP4 MP

表示	SP	LP2	LP4	MP (MONO)
録音モード	標準録音 (ステレオ)	2 倍長時間録音 (ステレオ)	4 倍長時間録音 (ステレオ)	モノラル録音
録音時間 (80 分の MD の場合)	最大 80 分 (標準)	最大 160 分 (標準録音時間の 2 倍)	最大 320 分 (標準録音時間の 4 倍)	最大 160 分 (標準録音時間の 2 倍)

こんなときに便利です。

- 2 枚の CD を 1 枚の MD に録音する。
- 4 時間のラジオ放送を 1 枚の MD に録音する。

お知らせ

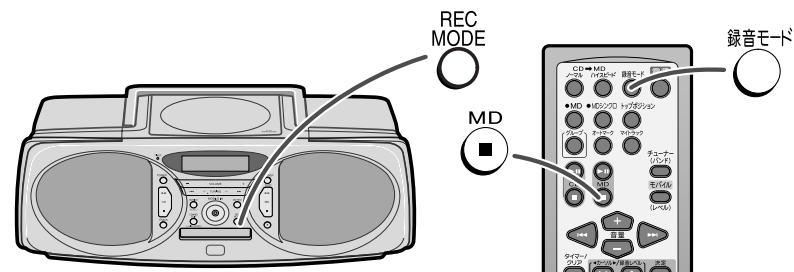
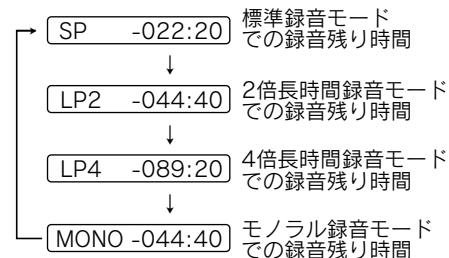
- 録音中は録音モードの切り換えはできません。
- 一度設定したあとは、次に変更するまで変わりません。
- 2 倍・4 倍長時間録音をした曲は、2 倍・4 倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。

■ 録音残り時間を確認するには

録音モードに合った録音残り時間を確認することができます。

❶ MD (■) を押す。

❷ 録音モード をくり返し押す。

本体の REC MODE を押しても操作することができます。

お知らせ

- 録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。
- **次に録音を開始するときは、ここで確認したモードで録音を開始します。**

MD の 4 倍長時間録音（LP4）についてのご注意

- MD の 4 倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方法によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。
- 音質を重視する録音を行うときには、標準録音（SP）または 2 倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

いろいろな録音方法について

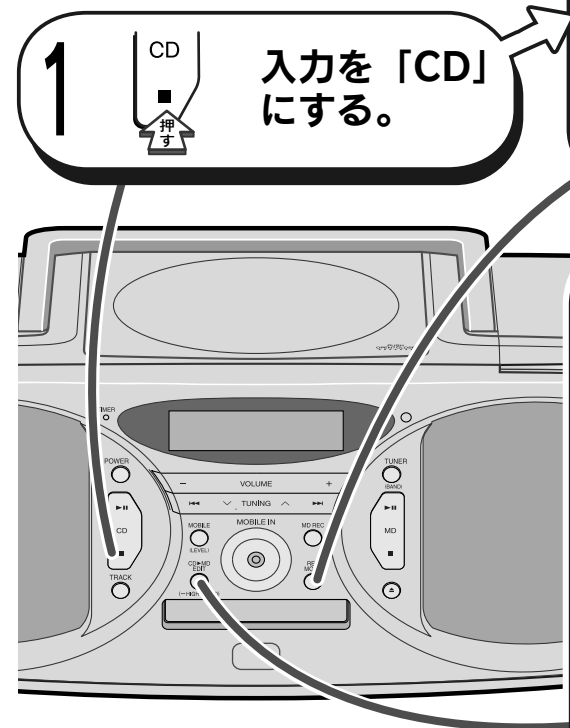
MDへのいろいろな録音方法

			録音に使うボタン
CDから	CDを1曲目から まるごとMDに 録音したい	CD→MDエディット ☞ P.30	CD➡MD ノーマル ハイスピード
	CDの好きな曲だけを MDに録音したい	マイトラック エディット ☞ P.32	CD➡MD ノーマル ハイスピード
	CDの曲番を選んで、その曲 以降をMDに録音したい （例えば、3曲目から…）	シンクロ録音 ☞ P.33	●MD ⇨ ►II CD
	CDの曲の途中をMDに 録音したい （曲のサビなど…）	マニュアル録音 ☞ P.33	●MD ⇨ ►II CD
ラジオから	ラジオ放送からMDに 録音したい	マニュアル録音 ☞ P.34	●MD ⇨ ►II MD
CDや ラジオから	すでに録音されている MDの先頭に新しい曲 を録音したい	トップポジション エディット ☞ P.36	（CD） CD➡MD ノーマル ハイスピード （ラジオ） ●MD ⇨ ►II MD
ポータブル 機器から	ポータブル機器などから MDに録音したい	サウンドシンクロ 録音 ☞ P.57	●MDシンクロ ⇨ 接続した機器を 再生する

CDの1曲目からまるごとMDへ録音する（CD ➡ MDエディット）

SD-FX30

はじめに:
1. 電源を入れる。
2. 録音したいCDを入れる。
3. 録音用MDを入れる。

1 入力を「CD」にする。

2 録音モードを選ぶ。（☞ P.28）

REC MODE 押す（くり返し押す）

表示	録音モード
SP	標準録音（ステレオ）
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）
MP	モノラル録音

3 録音を開始する。

定速で録音（ノーマルスピード）	4倍速で録音（ハイスピード）

- リモコンでは、ノーマル または ハイスピード を押します。
- CDの1曲目から順番に録音が始まります。

こんな表示が出たときは…

OVR	CDの全曲が録音できません。	☞右記ヒント
WAIT-＊＊m	しばらくお待ちください。	☞P.27
Can't COPY	アナログ方式で録音してください。	☞P.31

CDの再生が終わるか、MDの録音残り時間がなくなると、CDとMDは停止します。

録音を停止するには

CD ■ を押す。 CDとMDが停止したあと、MDに曲番を書き込みます。

曲番について

CD：1曲目 A曲／2曲目 B曲／3曲目 C曲
録音されたMD：1曲目 A曲／2曲目 B曲／3曲目 C曲

- CDと同じ位置に曲番がつきます。
- CDによっては、CDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

お知らせ

- **ハイスピードで録音中は音は聞こえません。**
  このとき、音量や音質などを操作すると“MUTE（ミュート）”と表示されます。
- ハイスピードで録音したときは、ディスクの記録状態によっては、正常に録音されないことがあります。そのときは、ノーマルスピードで録音してください。
- CDによっては、4倍速録音の時間に誤差の生じる場合があります。

ヒント “OVR”の表示が出たときは…

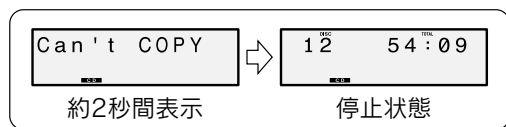
約2秒間：TTL10 35:05 ⇨ 約2秒間：OVR 2 10:13

録音できる曲数／録音できる時間／録音できない曲数／録音できない時間

これは、CDの全曲が録音できないことを表しています。
（録音できない曲数や時間をもう一度確かめるには、記号/タイム を押します。）

この表示が出たあとに…

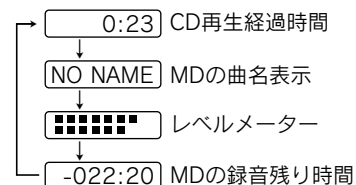
“Can't COPY” の表示が出たときは（アナログ録音）

CD-R や CD-RW から MD へ録音するときに、“Can't COPY” と表示されることがあります。
これは著作権保護を目的として、デジタル録音を制限するものです。
そのときは、次のようにアナログ方式で録音してください。

録音を停止するには

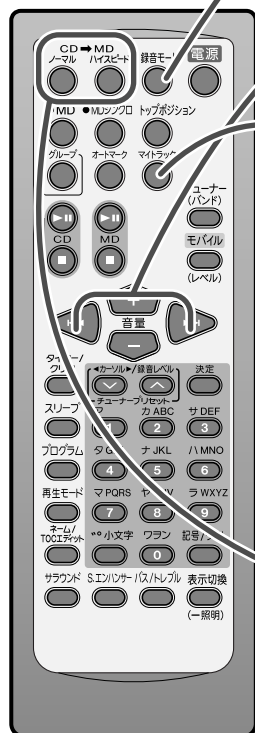
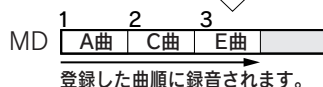
MD ■ を押す。

お知らせ
- 「CD」から他の入力に切り換えたり、電源を切ると、録音の設定はデジタルに戻ります。（“ANALOG” が消灯）
- 録音中に ◄カーソル►/録音レベル を押すと、録音レベルの調整をすることができます。（☞ P.33 手順 3-❸）

録音中に表示を切り換えるには

録音中に 表示切換（ー照明） をくり返して押す。

お知らせ
- レベルメーターやMDの録音残り時間の表示に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
  録音を停止すると、もとの表示に戻ります。
- 録音モードを「MP（MONO）」にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

CDの好きな曲を登録してMDへ録音する（マイトラックエディット）

CDの好きな曲だけを登録して、登録した順番にMDに録音することができます。（最大20曲）

録音が終わると、曲の登録は消えます。

■録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

1曲ずつ消すときは:

消したい曲を選んで、マイトラック を押す。
（曲番の“♪”マークが消灯します。）

全曲消すときは:

停止中に、CD■を押す。

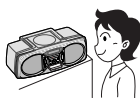
■CDを聞きながら登録するには

❶ CDを再生中に録音したい曲がでてきたら、マイトラック を押す。
曲が登録されます。（最大20曲）

❷ 登録が終わったら、CD■を押して、再生を止める。

❸ ノーマル または ハイスピード を押して、録音を開始する。

お知らせ

- マイトラックエディットで曲を登録すると、「CD」から他の入力に切り換えることができません。他の入力にしたいときは、CD■を押して登録を解除してください。
- プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、マイトラックエディットは使用できません。登録や設定を解除してから操作してください。（☞P.23、24）
- リピート再生を設定しているときに、マイトラックエディットを設定すると、録音中は一時的にリピート再生の設定は解除されますが、録音が終わるとリピート再生の設定に戻ります。

CDの曲番を選んで、その曲以降や曲の途中からMDへ録音する

■ＣＤの曲番を選んで、その曲以降を録音する

CDを再生すると、MDへの録音を自動的に開始することができます。（**シンクロ録音**）
また、CDの音声レベルが低いときや、高いときは、録音をする前に録音レベルを調整することができます。

1 CD ■ 入力を「CD」にする。

2 録音モード 録音モードを選ぶ。（☞P.28）

3 録音レベルを調整する。

録音レベルの調整をしないときは、●MD を押して操作4へ

❶ ►II（CD）を押して、録音したい曲を再生する。

❷ ●MD を押して、録音の一時停止状態にする。

❸ ◄カーソル►/録音レベル ∨ ∧ を押して、録音レベルを調整する。

録音レベル –4dB～＋10dB　　オーバー
レベルメーター 0dB

R. LEV.　0dB ⇨ "0dB" 以下に！

- 最も大きなレベルで "0dB" をこえないようにします。
- 録音レベルは－ 4dB から＋ 10dB まで、2dB ステップで調整することができます。

❹ CD ■ を押して、CD を停止する。

4 ◄◄ ►► 録音したい曲番を選ぶ。

録音したい曲番 — 3　5　03

5 ►II（CD） 録音を開始する。

CDの再生が終わると、MDは録音の待機状態になります。

録音を停止するには MD ■ を押す。

■ＣＤの曲の途中から録音する

曲の途中から、好きな場所だけを録音することができます。（**マニュアル録音**）

1 ►II（CD） CDを再生中に、**録音したいところで一時停止する。**

2 録音モード **録音モードを選ぶ。（☞P.28）**

3 ●MD **録音の待機状態にする。**

4 ►II（CD） **録音を開始する。**

■録音レベルを調整して録音するには...

録音中に ◄カーソル►/録音レベル ∨ ∧ を押すと、録音レベルの調整をすることができます。
（☞ **左記の操作手順 3-❸**）

お知らせ

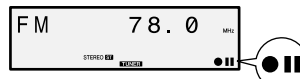
- 曲番を選んで、その曲以降を録音するときや曲の途中から録音するときに、ノーマル または ハイスピード を押しても、録音することはできません。
- ●MD を使って録音するときは、自分で曲番をつけることができます。録音中に、好きな所で ●MD を押してください。
（曲番をつけたあと、約４秒間は次の曲番をつけることができません。）

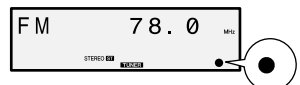
ラジオ放送からＭＤへ録音する（マニュアル録音）

はじめに： 1. 電源を入れる。
2. 録音用MDを入れる。
3. 録音したい放送局を受信する。
（☞ P.20）

1 録音モードを選ぶ。
（☞ P.28）

表示	録音モード
SP	標準録音（ステレオ）
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）
MP	モノラル録音

2 録音の待機状態にする。
MD REC 押す
FM 78.0

3 録音中の曲番のつけかたを変えることができます。
（☞ オートマーク:P.35）
ヒント

4 録音を開始する。
►II MD 押す
FM 78.0

MD の録音残り時間がなくなると、
MD は停止します。

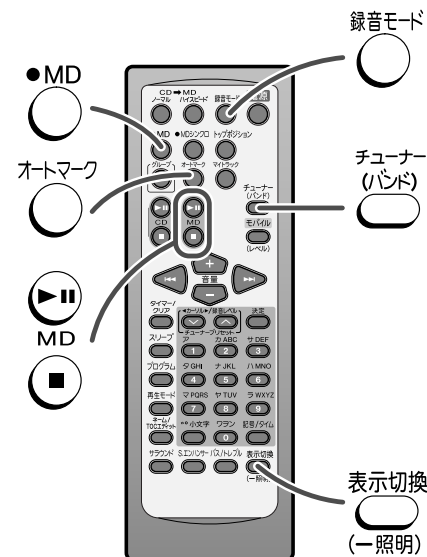
■ 録音を一時停止するには

を押す。

もう一度押すと、録音が再開します。

■ 録音を停止するには

を押す。

MD が停止したあと、MD に曲番を書き込みます。

オートマーク について（曲番のつけかた）

ヒント ラジオ放送や他の機器からMDに録音するときは、曲番のつけかたを変えることができます。（他の機器からの録音方法：☞P.57～58）

録音を始める前に、リモコンの オートマーク をくり返し押して、曲番のつけかたを選ぶ。

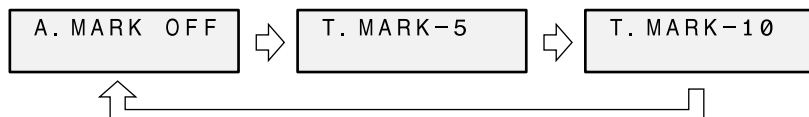
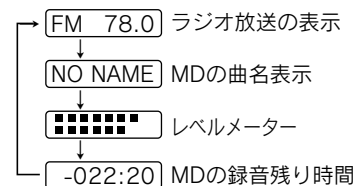
A. MARK OFF ⇨ T. MARK−5 ⇨ T. MARK−10

※初期値はA.MARK OFF に設定されています。

表　示	内　容
A.MARK OFF	**はじめは、1回の録音がひと続きの曲として録音される設定になっています。**（録音を停止したり、一時停止すると、次に録音を再開したとき、曲番が1つ増えます。） ラジオ放送：1（曲番）A曲　2（曲番）B曲　3（曲番）C曲 録音されるMD：1（曲番）（A曲）（B曲）（C曲）
T.MARK-5	**録音が始まって、5分おきに曲番がつきます。** 1（曲番）（A曲）　2（曲番）（B曲）　3（曲番）（C曲）　4（曲番）（D曲）　5（曲番）（E曲）　6（曲番）（F曲） 5分　5分　5分　5分　5分
T.MARK-10	**録音が始まって、10分おきに曲番がつきます。** 1（曲番）（A曲）　2（曲番）（B曲）　3（曲番）（C曲） 10分　10分　10分

- オートマークによる5分おき、または10分おきの曲番は、正確な時間につかないことがあります。
- オートマークの設定に関係なく、●MD を押すと、好きな所で曲番をつけることができます。（曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。）

録音中に表示を切り換えるには

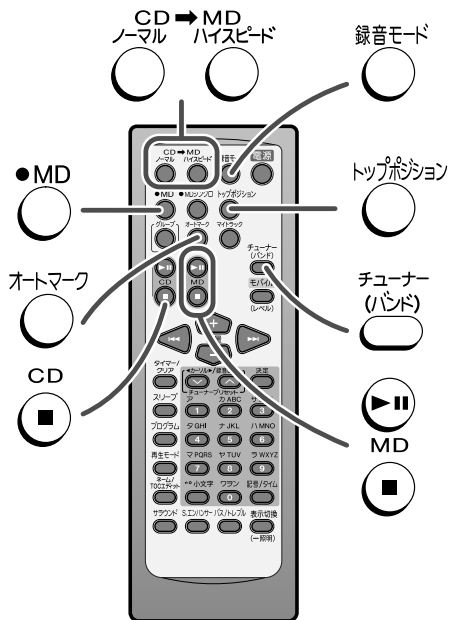
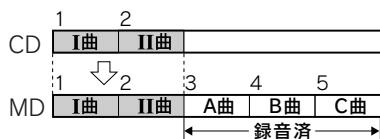
録音中に 表示切換（一照明） をくり返して押す。

- レベルメーターやMDの録音残り時間の表示に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
  録音を停止すると、もとの表示に戻ります。
- 録音モードを「MP（MONO（モノラル））」にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

お知らせ

AM放送を録音するときは、録音の待機状態のときに、AMアンテナを本体から離して、AM 放送が最もきれいに聞こえるように調整しておいてください。

録音済みMDの先頭に録音する（トップポジションエディット）

SD-FX30

録音済みMDの先頭に、曲をあとから録音することができます。

CDから録音するとき

1. 入力を「CD」にする。
2. 録音モードを選ぶ。（☞P.28）
3. 押す。
   もう一度押すと、設定が解除されます。
4. 録音を開始する。
   ［ノーマル］または［ハイスピード］を押す。

お知らせ

- 録音が終わると、トップポジションエディットの設定は解除されます。
- 録音中や録音の待機状態では、トップポジションエディットの設定や解除はできません。

ラジオから録音するとき

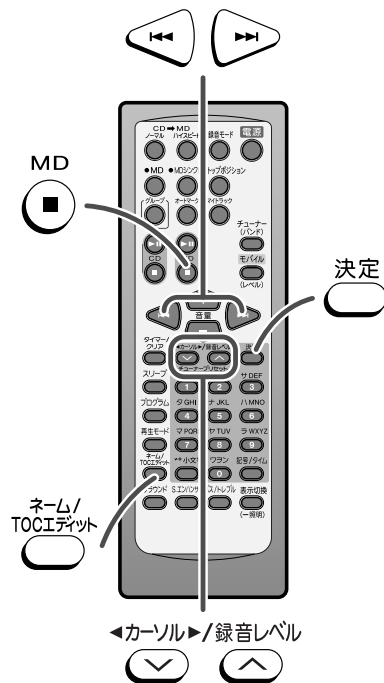
1. 録音したい放送局を受信する。（☞ P.20）
2. 録音モードを選ぶ。（☞P.28）
3. 押す。
   もう一度押すと、設定が解除されます。
4. 録音の待機状態にする。
5. 曲番のつけかたを選ぶ。（☞ P.35）
6. 録音を開始する。
   録音を停止するには、MD(■)を押す。

MD に録音した曲を消す

SD-FX30

不要になった曲を消すことができます。
曲を消すと、1枚のMDをくり返して使うことができます。

ご注意

曲を消すと、もとには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

曲を１曲ずつ消したいとき（トラックイレース）

1 MD の停止中に **消したい曲番を選ぶ。**

2 4:42

- 再生の一時停止中にもできます。
- グループ録音したMDの曲を消すときは、グループ をくり返し押して、消したい曲が入っているグループを選んだあと、消したい曲番を選んでください。

2 ネーム/TOCエディット **押す。**
（1 分以内に次の操作へ）

3 ◀カーソル▶/録音レベル **“Tr-ERASE”（トラックイレース）を選ぶ。**

Tr−ERASE

決定 1 分以内に… **押す。**

ERASE 2?

中止するには MD ■ を押す。

4 決定 **押す。**

COMPLETE

- 1 曲消えます。
- グループ内のすべての曲を消すと、そのグループも消えます。

曲を消したあとは、あとでどれくらい録音できるようになったのか、録音残り時間を確かめておくと便利です。（☞ P.28）

MD のすべての曲を一度に消したいとき（オールイレース）

1 MD ■ **押す。**

12 42:33

- グループ録音したMDの曲を消すときは、グループ を押して、“▶GROUP◀（グループ）”を点灯させてください。

2 ネーム/TOCエディット **押す。**
（1 分以内に次の操作へ）

3 ◀カーソル▶/録音レベル **“ALL ERASE”（オールイレース）を選ぶ。**

ALL ERASE

決定 1 分以内に… **押す。**

ALL ERASE?

中止するには MD ■ を押す。

4 決定 **押す。**

COMPLETE

BLANK MD

すべての曲が消えます。

お知らせ

プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、曲を消すことはできません。登録や設定を解除してから操作してください。（☞ P.23、24）

MDへグループに分けて録音する

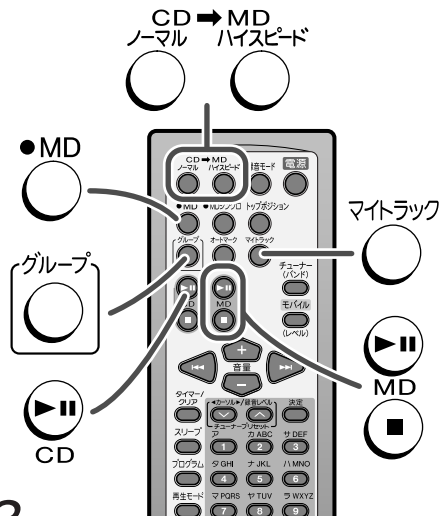
1枚のMDへグループに分けて録音することができます。

グループ録音すると…

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音（最大99グループ）することができます。

グループにしなかった曲は「ノングループ」になります。（“NON GROUP”と表示）

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ	
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲

グループごとに曲番が1から始まります。

CDからグループに分けて録音する（CD ▶ MDエディット）

はじめに:

1. 入力を「CD」にする。
2. CDとMDを入れる。
3. 録音モードを選ぶ。（☞ P.28）

ラジオからグループに分けて録音する

はじめに:

1. 入力を「TUNER」にし、録音したい放送局を選ぶ。
2. MDを入れる。
3. 録音モードやオートマークを選ぶ。（☞ P.28、35）

グループ録音の設定は次に変更するまで変わりません。

- **録音を停止するには（MD ■）を押す。**
- **トップポジションエディット（☞ P.36）をするときは**
  操作1のあとに（トップポジション）を押して、“🏴”を点灯させてください。

■CDからいろいろなグループ録音ができます。

はじめに: 1. CDとMDを入れる。

マイトラックエディット

1 32ページの手順1～4までの操作をする。

2 "▶GROUP◀"が点灯していないときは、(グループ)を押して、"▶GROUP◀"を点灯させる。

3 定速で録音（ノーマル） 4倍速で録音（ハイスピード） 録音の待機状態にする。

4 (グループ) くり返し押して、録音したいグループを選ぶ。(☞ P.38 操作3)

5 定速で録音（ノーマル） 4倍速で録音（ハイスピード） 録音を開始する。

● **トップポジションエディット（☞ P.36）をするときは**
上の操作2のあとに(トップポジション)を押して、"🏴"を点灯させてください。

はじめに: 1. CDとMDを入れる。
2. 入力を「CD」にする。

シンクロ録音 / マニュアル録音

1 "▶GROUP◀"が点灯していないときは、(グループ)を押して、"▶GROUP◀"を点灯させる。

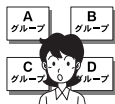
2
- シンクロ録音：33ページの「CDの曲番を選んでその曲以降を録音する」の手順2～4までの操作をする。
- マニュアル録音：33ページの「CDの曲の途中から録音する」の手順1～3までの操作をする。

3 (グループ) くり返し押して、録音したいグループを選ぶ。(☞ P.38 操作3)

4 (▶II CD) 録音を開始する。

● **アナログ録音（☞ P.31）をするときは**
上の操作3のあと(録音モード)を3秒以上押して、"ANALOG"を点灯させてください。
(CD → MDエディットやマイトラックエディットでアナログ録音をすることはできません。)

お知らせ

- グループ録音したMDを他の機器で録音または編集したあとに、この製品でグループ録音の操作をすると、"? Gr Form."（グループ フォーム）のあと"NewForm. OK?"（ニュー フォーム）と表示されることがあります。
その場合、ディスク名を消さないとグループ録音ができませんので"NewForm. OK?"と表示中に(決定)を押してください。
(ディスク名が消去されます。)
ディスク名を消したくないときは:
(MD ■)を押して、録音を停止してください。
- グループ録音したMDを他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音したMDをこの製品で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- グループを99個作ったときは、グループへの録音はできません。
ノングループへの録音となります。

グループ録音した MD を聞く

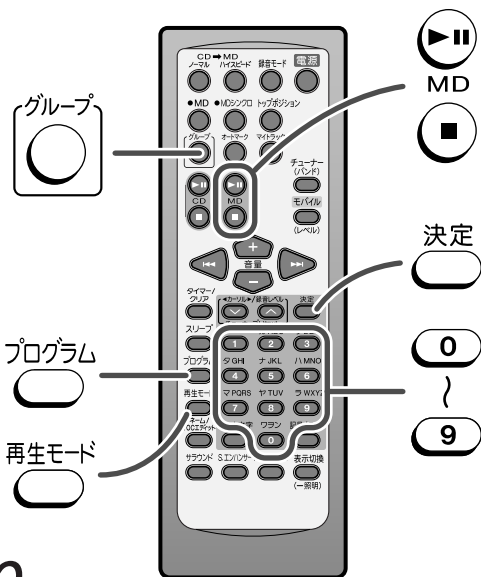
設定されたアルバムやアーチストなど、好みのグループ別に再生することができます。

グループモードのままで再生すると…

グループ1				ノングループ			グループ2				グループ3				ノングループ
1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	4
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

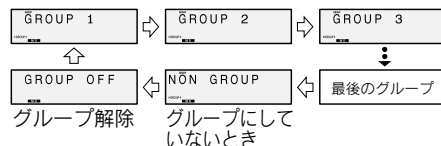
グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

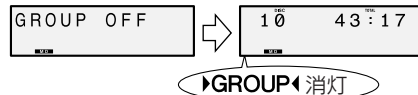
すべてのノングループの曲は最後に再生します。

グループごとに曲番 1 から再生が始まります。

グループの選択・解除について

❶ グループ録音した MD を入れると、“▶GROUP◀（グループ）” が点灯し、グループモードになります。

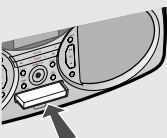
❷ グループ を押すたびに、グループの選択が切り換わります。

- 本体の MD ■ を押しても可能です。

  また、本体の MD ■ を３秒以上押し続けると、グループの解除ができます。

- グループを解除して聞きたいときは、“▶GROUP◀（グループ）” を消灯させます。

グループを解除して再生すると…

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

グループ分けに関係なく、1 曲目から再生が始まります。

■ 聞きたいグループを選んで聞く

1. 入力を「MD」にする。
2. グループ録音した MD を入れる。
   グループモードになり、最初のグループを表示します。
3. くり返し押して、聞きたいグループを選ぶ。
   本体の MD ■ でも可能
4. 再生する。
   選んだグループの１曲目から再生が始まります。

■ 聞きたい曲から聞く（ダイレクト再生）

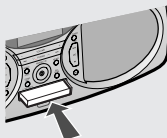
1. グループ録音した MD を入れて、聞きたいグループを選ぶ。
   （☞ 上記 操作 1 ～ 3）
2. 聞きたい曲番を選び、10 秒以内に決定を押す。
   選んだグループの指定した曲から再生が始まります。

■ くり返して聞く・順不同で聞く
（リピート再生・ランダム再生）

1 MD 入力を「MD」にする。

2 グループ録音したMDを入れる。
“▶GROUP◀”が点灯していないときは、グループ を押して点灯させてください。

3 再生モード 再生モードを選ぶ。
（くり返し押す）

再生モード	表　示	動　　作
ノーマル再生	NORMAL	グループ順に全曲を再生したあと、停止します。
1曲リピート再生	1↻	1曲をくり返し再生します。
全曲リピート再生	↻	グループ順に全曲再生をくり返します。
ランダム再生	RANDOM	グループ内で順不同に再生し、グループ内を全曲再生した後は次のグループを順不同に再生します。MD内の全曲を再生後停止します。

1曲だけをくり返し再生するときは…
グループ をくり返し押して、聞きたい曲のグループを選んだあと、⏮または⏭を押して、聞きたい曲を選び、“1-REPEAT”を選んでください。

4 MD 再生する。

■ 好きなグループだけを登録して聞く
（グループプログラム再生）

1 入力を「MD」にする。

2 グループ録音したMDを入れる。
“▶GROUP◀”が点灯していないときは、グループ を押して点灯させてください。

3 押す。

4 くり返し押して、聞きたい曲のあるグループを選ぶ。

5 押す。

6 4〜5の操作をくり返し、聞きたいグループを順に指定する。

7 再生する。

グループプログラム再生が終わると、グループプログラムモードは解除されます。（“PROGRAM”消灯）

停止後、同じ登録内容で再生するには
上の1、3、7の順に操作を行います。

「くり返して聞く・順不同で聞く」のお知らせ....
MDのプログラム再生を設定しているときは、グループモードに設定することができません。

お知らせ..................
- **MDを取り出すと、グループプログラムの登録内容が消えます。**
- 再生中や一時停止中には、グループプログラムの登録をしたり、取り消すことはできません。
- グループプログラムの設定は、MDの録音操作をすると解除されます。
- グループプログラムの登録をしたときは、グループモードを解除することはできません。
- グループプログラムの登録をしたあとに、全曲リピート再生をすると、聞きたいグループだけをくり返して聞くことができます。
- グループプログラムの登録をしたときは、ランダム再生をすることはできません。

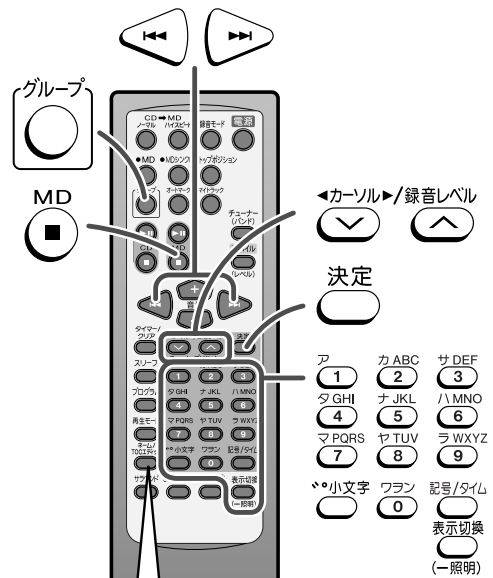
録音したMDにタイトルをつける

録音したMDに、お好みのディスク名やグループ名、曲名をつけることができます。

はじめに: 録音した MD を入れて、MD(■)を押す。

はじめに
グループ録音した MD は、グループ をくり返し押して、曲名をつけたい曲のグループを選ぶ。

操作を中止するには
編集中に ネーム/TOCエディット を押す。

			ディスク名をつける	グループ名をつける	曲名をつける
1	準備する。		MD を停止状態にする。 12 58:23	グループ をくり返し押して、タイトルをつけたいグループを選ぶ。(☞ P.40) GROUP 1	⏮ または ⏭ を押して、タイトルをつけたい曲番を選ぶ。 4 4:12
2	ネーム/TOCエディット	押す。 (1 分以内に次の操作へ)	⇩	⇩	⇩
3	◀カーソル▶/録音レベル ∨ ∧	つけたいタイトルの項目を選ぶ。	DISC NAME “DISC NAME”(ディスクネーム)を選ぶ。	GROUP NAME “GROUP NAME”(グループネーム)を選ぶ。	TRACK NAME “TRACK NAME”(トラックネーム)を選ぶ。
	決定	1 分以内に… 押す。	ディスク名文字入力画面	グループ名文字入力画面	曲名文字入力画面
4	表示切換(一照明)	文字の種類を選ぶ。	カナ(カタカナ) 英数(英数大文字) 英数(英数小文字)		
	1〜9, 0	文字を入力する。 (☞ P.43)	デ ィスクメイ	ク゛ルーフ゜ メイ	キョクメイ
	決定	押す。	● ディスク名が記録されます。 COMPLETE	● グループ名が記録されます。 COMPLETE	● 曲名が記録されます。 COMPLETE

■ 文字入力のしかた

例)「ヒット　ソング」と入力するときは

1. 表示切換(ー照明) を押し、カタカナ入力モードにする。
2. ハMNO 6 ハMNO 6 ....(ヒ)
3. タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 ....(ッ)
4. ︿ ....(カーソル移動)
5. タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 タGHI 4 ....(ト)
6. ゛゜小文字 ゛゜小文字 ゛゜小文字 ....(スペース)
7. サDEF 3 サDEF 3 サDEF 3 サDEF 3 サDEF 3 ....(ソ)
8. ワヲン 0 ワヲン 0 ワヲン 0 ....(ン)
9. カABC 2 カABC 2 カABC 2 ....(ク)
10. ゛゜小文字 ....(゛)

文字を追加入力するとき

1. 文字入力の画面にする。(☞P.42 手順3)
2. ◀カーソル▶/録音レベル ﹀ ︿ を押して、追加したい位置の文字を点滅させる。
3. 文字を入力する。もとの文字が1文字ずつ右に移動します。
4. 修正が終われば、決定 を押す。

文字を削除するとき

1. 文字入力の画面にする。(☞P.42 手順3)
2. ◀カーソル▶/録音レベル ﹀ ︿ を押して、削除したい文字を点滅させる。
3. タイマー/クリア を押す。
4. 修正が終われば、決定 を押す。

■ リモコンで入力できる文字の種類

表示切換(ー照明)	カタカナ	⇔ 英数大文字 ⇔ 英数小文字	
		大文字⇔ ゛゜小文字 ⇔小文字	
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ	1	1
カABC 2	カキクケコ	ABC 2	abc 2
サDEF 3	サシスセソ	DEF 3	def 3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI 4	ghi 4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL 5	jkl 5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO 6	mno 6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS 7	pqrs 7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV 8	tuv 8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ 9	wxyz 9
ワヲン 0	ワヲン	0 スペース	0 スペース
゛゜小文字	゛ ゜ スペース	アルファベットの大文字／小文字の切換（数字の大きさは変わりません。）	
記号/タイム	ー . , / : ? & ( ) ! " # $ % ＊ ;< = > @ _ ` + ' スペース		

お知らせ..............................

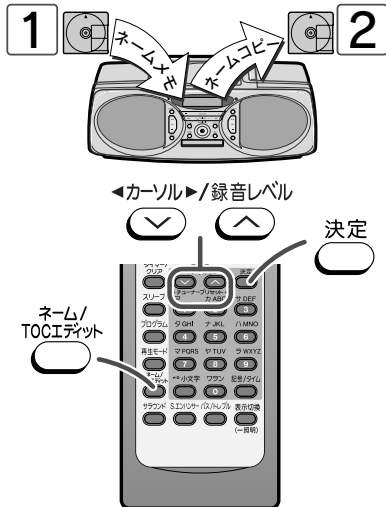
- カタカナは、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- タイトルの文字数はそれぞれ40文字までです。いっぱいになると、"NAME FULL"（ネーム フル）と表示されます。
- 他の機器で40文字以上のタイトルをつけたMDは、文字を修正することはできません。そのときは、修正したいディスク名やグループ名、曲名を一度消去してください。
- タイトルに " / " を連続してつけることはできません。
- LP2またはLP4で録音したMDのタイトルの先頭に"LP :"を入力すると、表示されません。
- 1枚のMDには、タイトルの総合計文字数を約1,700文字までしか入れることができません。
  いっぱいになると、"TOC FULL 1"（トック フル）と表示されます。

ご注意

プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、タイトルをつけることはできません。
登録や設定を解除してから操作してください。(☞P.23、24)

MDのタイトルをメモして、他のMDにコピーする

SD-FX30

タイトルをこの製品に登録して、他の MD にコピーすることができます。

お知らせ

- グループモードを設定しているときは、ディスク名は表示されません。ディスク名を「**ネームメモ**」・「**ネームコピー**」するときは、グループモードを解除(☞**P.40**)したあと操作してください。(このとき編集メニューにすると、“GROUP DISC”(グループ ディスク)と表示されますが、そのまま続けて操作してください。)
- 1つの「**ネームメモ**」は25文字までです。26文字以降は登録されません。「**ネームコピー**」をすると、以前ついていたタイトルは消えます。
- 録音中に「**ネームメモ**」や「**ネームコピー**」をすることはできません。

1 タイトルをメモする(ネームメモ)

はじめに:
1. タイトルがついているMDを入れる。
2. 入力を「MD」にする。
3. ディスク名またはグループ名、曲名を表示させる。

他のMDにタイトルをコピーする

2 メモしたタイトルをつける(ネームコピー)

はじめに:
1. タイトルをつけたい MD を入れる。
2. 入力を「MD」にする。

1 タイトルをつけたいものを選ぶ。

ディスク名	MD ■ を押して、総曲数と総再生時間の表示にします。	12 54:09
	(ディスク名をつけたいときは、グループモードを解除してください。)	
曲名	⏮ または ⏭ をくり返し押す。	1 3:15
グループ名	グループ ○ をくり返し押す。	GROUP 1

2 ネーム/TOCエディット
押す。
(1分以内に次の操作へ)

3 ◀カーソル▶/録音レベル
“NAME COPY”(ネーム コピー)を選ぶ。
NAME COPY
決定
1分以内に…
押す。

4 ◀カーソル▶/録音レベル
利用したいタイトルを選ぶ。(M1～M20 ☞ 左記)
M 6:BEST HI
↓
BEST HIT
決定
押す。
このとき表示されたタイトルを変更することもできます。(☞**P.42 操作4**)

5 決定
押す。
COMPLETE
MDにタイトルがつきます。

入力したタイトルを消す

不要になったディスク名やグループ名、曲名を消すことができます。

操作を中止するには

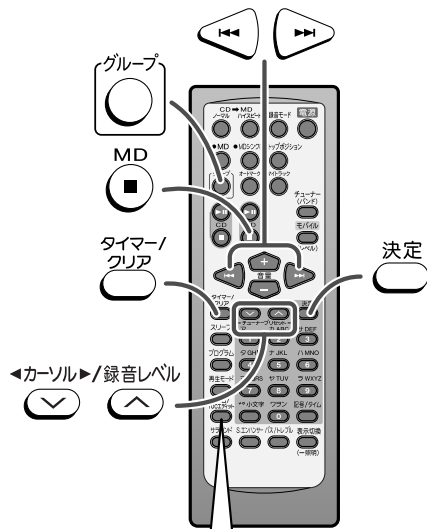
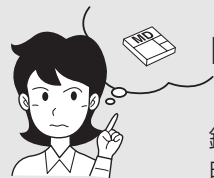
編集中に ネーム/TOCエディット を押す。

ご注意

プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。
登録や設定を解除してから操作してください。(☞P.23、24)

はじめに: 録音した MD を入れて、MD ■ を押す。

はじめに……
グループ録音した MD は、グループ をくり返し押して、曲名を消したい曲のグループを選ぶ。

		ディスク名を消す	グループ名を消す	曲名を消す
1	準備する。	MD を停止状態にする。 `12 58:23`	グループ をくり返し押して、タイトルを消したいグループを選ぶ。(☞ P.40) `GROUP 1`	◀◀ または ▶▶ を押して、タイトルを消したい曲を選ぶ。 `4 4:12`
2 ネーム/TOCエディット	押す。 (1 分以内に次の操作へ)	⇩	⇩	⇩
3 ◀カーソル▶/録音レベル ∨ ∧	消したいタイトルの項目を選ぶ。	`DISC NAME` “DISC NAME”(ディスク ネーム) を選ぶ。	`GROUP NAME` “GROUP NAME”(グループ ネーム) を選ぶ。	`TRACK NAME` “TRACK NAME”(トラック ネーム) を選ぶ。
決定	1 分以内に… 押す。	⇩	⇩	⇩
4 タイマー/クリア	3 秒以上押す。	`NAME CLEAR?`	`NAME CLEAR?`	`NAME CLEAR?`
5 決定	押す。	`NO NAME`	`NO NAME`	`NO NAME`

録音したMDを編集する

MD編集とは？

録音済みのMDを、あとから曲をつないだり、分けたり、移動したりするなど、いろいろなことができます。

こんな編集ができます…

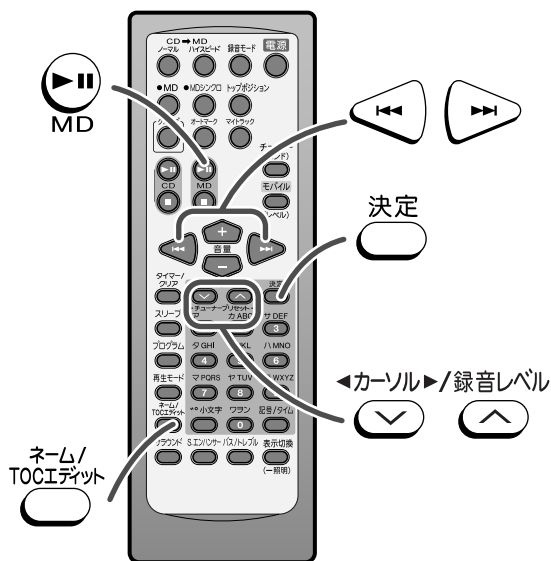
デバイド	1曲を2つに分ける	☞右記
ムーブ	曲を移動する	☞P.47
コンバイン	2曲を1つにつなぐ	☞P.47
グループトップムーブ	グループを先頭に移動する	☞P.48
グループアレンジ	ノングループの曲をMDの最後に移動する	☞P.48
グループチェンジ	曲を別のグループに移動する	☞P.49
グループエントリー	グループになっていない曲をグループにする	☞P.49
グループリザーブ	グループを作成する	☞P.50
グループイレース	グループを消す	☞P.50
グループキャンセル	グループ情報を消去する	☞P.50

はじめに:

1. 録音したMDを入れる。
2. MD(■)を押して、入力を「MD」にする。

ご注意

プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。
登録や設定を解除してから操作してください。
(☞P.23、24)

デバイド

1曲を2つに分ける

1 MD(▶II) MDの再生中に、**曲を分けたいところで、一時停止状態にする。**

2 ネーム/TOCエディット **押す。**（1分以内に次の操作へ）

3 ◀カーソル▶/録音レベル (∨)(∧) **“DIVIDE”（デバイド）を選ぶ。**

DIVIDE

↓ 決定

1分以内に…**押す。**

DIVIDE OK?

中止するには、ネーム/TOCエディットを押す。

4 決定 **押す。**

COMPLETE

曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

お知らせ

- 1枚のMDで最大255曲まで曲を分けられます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。（☞ P.61）
- 分ける曲に曲名・録音日時がついているときは、両方に同じ曲名・録音日時がつきます。
ただし、TOC（トック）に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名・録音日時がつきません。

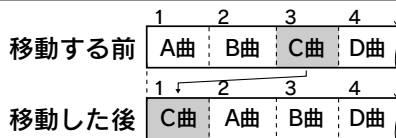
曲を移動する

ムーブ

移動する前

1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲

移動した後

1	2	3	4
C曲	A曲	B曲	D曲

1 MDの停止中に、
移動する曲を選ぶ。
または、移動したい曲の再生中に、MD を押して、一時停止状態にする。

2 **押す。**
（1分以内に次の操作へ）

3 “MOVE”（ムーブ）**を選ぶ。**

1分以内に…
押す。

4 **移動先の曲番を選ぶ。**

中止するには、ネーム/TOCエディット を押す。

押す。

曲が移動しその曲の頭で停止します。

2曲を1つにつなぐ

コンバイン

1 MDの停止中に、
つなぐうしろの曲を選ぶ。

2 **押す。**
（1分以内に次の操作へ）

3 “COMBINE”（コンバイン）**を選ぶ。**

1分以内に…
押す。

中止するには、ネーム/TOCエディット を押す。

4 **押す。**

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

「曲を移動する」のお知らせ ....
グループにしている曲は、グループ内での移動しかできません。別のグループに移動するには「**グループチェンジ**」（☞ **P.49**）を使って曲を移動してください。

「2曲を1つにつなぐ」のお知らせ ....

- 連続していない2つの曲をつなぐには、あらかじめ「**ムーブ**」を使って2つの曲を連続させてからつないでください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 録音モードの異なる曲をつなぐことはできません。
- 短い曲（ステレオ録音：12秒、モノラル録音・2倍長時間録音：24秒、4倍長時間録音：48秒）はつながらないことがあります。
- つなぐ2つの曲に、両方の曲に曲名がついているときは、前の曲名がつきます。ただし、他の機器で録音した曲は、曲名がつかないことがあります。
- グループにしている曲は、グループ内の曲しかつなぐことはできません。別のグループの曲をつなぐときは、「**グループチェンジ**」（☞ **P.49**）を使って2つの曲を連続させてからつないでください。
- ノングループの曲はつながらないことがあります。「**グループアレンジ**」（☞ **P.48**）を使って曲を移動してからつないでください。

グループ録音したMDを編集する

グループ編集に関するお知らせ

- グループ録音したＭＤを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音したＭＤを、この製品で編集すると正しく動作しないことがあります。

はじめに:

1. **グループ録音したMDを入れる。**
   （グループエントリーはグループ録音をしていないMDでも操作できます。）
2. MD(■)を押して、入力を「MD」にする。

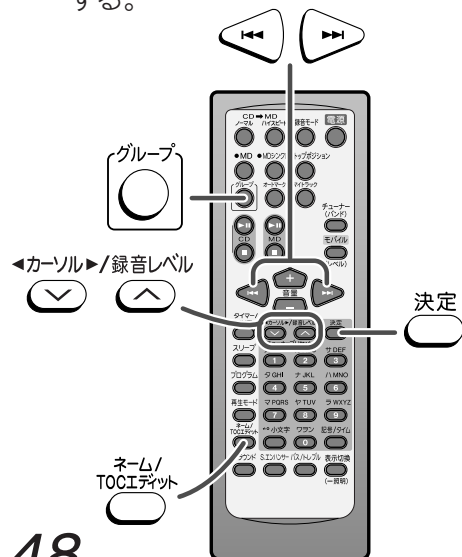
グループトップムーブ

グループを先頭に移動する

移動する前

グループ1				グループ2				グループ3			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O

移動した後

グループ1				グループ2				グループ3			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
H曲	I曲	J曲	K曲	A曲	B曲	C曲	D曲	L曲	M曲	N曲	O

1 グループ
MDの停止中に、
くり返し押して、移動するグループを選ぶ。
GROUP 2

2 ネーム/TOCエディット
押す。
（1分以内に次の操作へ）

3 ◄カーソル►/録音レベル
“Gr-TOP-MOVE”（グループトップムーブ）を選ぶ。
Gr−TOP−MOVE
⇩
決定
1分以内に…
押す。
Gr−MOVE OK?
中止するには、ネーム/TOCエディットを押す。

4 決定
押す。
COMPLETE
グループが移動します。

お知らせ

- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをすると、グループ名も同時に移動します。
- 先頭のグループをグループトップムーブしようとすると、**“Can't EDIT”**（キャント エディット）と表示され、移動できません。
- ノングループや曲が録音されていないグループは、グループトップムーブをすることはできません。

グループアレンジ

ノングループの曲をMDの最後に移動する

移動する前

グループ1				ノングループ			グループ2					
1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲

移動した後

グループ1				グループ2				ノングループ				
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	E曲	F曲	G曲	L曲	M曲

1 ネーム/TOCエディット
MDの停止中に、
押す。
GROUP NAME
（1分以内に次の操作へ）

2 ◄カーソル►/録音レベル
“Gr-ARRANGE”（グループアレンジ）を選ぶ。
Gr−ARRANGE
⇩
決定
1分以内に…
押す。
ARRANGE OK?
中止するには、ネーム/TOCエディットを押す。

3 決定
押す。
COMPLETE
ノングループの曲が、MDの最後に移動します。

ご注意

グループアレンジをすると、ノングループの曲をすべて後に移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなります。移動してもよいか、よく確かめてから操作してください。

グループチェンジ

曲を別のグループに移動する

移動する前

グループ1				ノングループ			グループ2				
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L

移動した後

グループ1					ノングループ			グループ2			
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	5 I曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	1 H曲	2 J曲	3 K曲	1 L

1. MD の停止中に、
くり返し押して、移動したい曲が入っているグループを選ぶ。
GROUP 2

2. **移動したい曲を選ぶ。**
2 4:52

3. **押す。**
（1 分以内に次の操作へ）

4. **“Gr-CHANGE”を選ぶ。**（グループチェンジ）
Gr-CHANGE
1 分以内に…
押す。

5. **移動先のグループを選ぶ。**
>GROUP 1
押す。
CHANGE OK?
中止するには、ネーム/TOCエディットを押す。

6. **押す。**
COMPLETE
曲が、選んだグループの最後に移動します。

お知らせ
すべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。

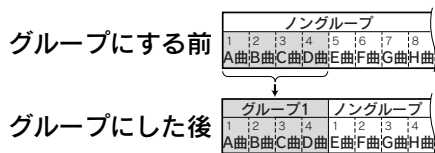
グループエントリー

グループになっていない曲をグループにする

グループにする前

ノングループ							
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	5 E曲	6 F曲	7 G曲	8 H曲

グループにした後

グループ1				ノングループ			
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	4 H曲

ご注意
グループエントリーをすると、ノングループの曲をすべて後ろに移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなります。グループにしてもよいか、よく確かめてから操作してください。

1. MD の停止中に、
押す。
DISC NAME
（1 分以内に次の操作へ）

2. **“Gr-ENTRY”を選ぶ。**（グループエントリー）
Gr-ENTRY
1 分以内に…
押す。
ENTRY OK?
中止するには、ネーム/TOCエディットを押す。

3. **押す。**
START TNO.

4. **グループにしたい最初の曲を選ぶ。**
1 4:48
ノングループの曲番が、1 から順に表示されます。
押す。
END TNO.

5. **グループにしたい最後の曲を選ぶ。**
4 3:32
押す。
1− 4 OK?
中止するには、ネーム/TOCエディットを押す。

6. **押す。**
COMPLETE
選んだ曲が、グループになります。

お知らせ
- ノングループの曲がないときは、操作３で“NO TRACK”（ノー トラック）と表示され、グループエントリーすることはできません。
- 順番にならんでいない曲をグループにするには、あらかじめ「ムーブ」（☞P.47）を使って曲を移動させてからグループエントリーしてください。

グループ録音したMDを編集する（続き）

グループを作成する

グループリザーブ

ご注意

グループリザーブをしたときは、曲を録音するまで、そのグループの名前を消去することができません。

グループを消す

グループイレース

消す前

グループ1				グループ2				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲

消した後

グループ2				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4
H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲

ご注意

グループを消すと、もとには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

グループ情報を消去する

グループキャンセル

キャンセルする前

グループ1				グループ2			
1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲

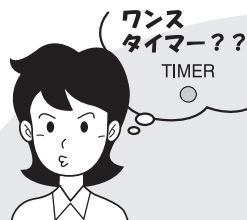
↓

キャンセルした後

1	2	3	4	5	6	7	8
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲

ご注意

グループキャンセルをすると、すべてのグループ情報が消去されます。

タイマーを使う前に

タイマーでどんなことができるの？

設定した時刻にCD、MD、ラジオ放送を聞くことができるタイマー再生や、ラジオ放送をMDに録音できるタイマー録音が可能です。(☞ P.52～53)
「**ワンスタイマー**」と「**デイリータイマー**」の２種類が使えます。
また、MD・CD・ラジオ放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。「**おやすみタイマー**」(☞ P.55)

ワンスタイマーを使うと…

1 回だけタイマーが動作をします。
(終了後、タイマーの設定は解除されます。)

タイマー録音に便利

デイリータイマーを使うと…

1回の設定で、毎日同じ時刻にタイマーが動作をします。
(設定を解除するまで、毎日くり返します。)

毎朝の目覚ましに便利

おやすみタイマーを使うと…

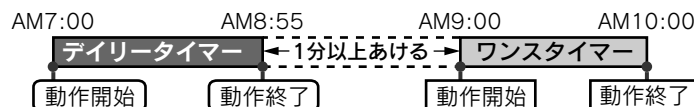
設定した時間がくると電源が切れます。

おやすみのときに便利

ワンスタイマーとデイリータイマーは、組み合わせて使用することができます

例えば…

それぞれのタイマー設定をしておくと、デイリータイマーを使って、毎朝同じ時刻に音楽でお目覚めしたり、ワンスタイマーを使って、お出かけ中にラジオ放送を録音することができます。

- 組み合わせて使用するときは、最初のタイマーの動作終了時刻から次のタイマーの動作開始時刻までの間を1分以上あけて設定してください。

- デイリータイマーとワンスタイマーの時間を重ねて設定すると、開始時刻の遅い方のタイマーは動作しません。

AM9:00　AM10:00
○ デイリータイマー
AM9:10
× ワンスタイマー

AM9:10
× デイリータイマー
AM9:00　AM10:00
○ ワンスタイマー

- 開始時刻を同じ時刻に設定すると、デイリータイマーは動作しません。

AM9:00
× デイリータイマー
AM9:00
○ ワンスタイマー

○：動作する
×：動作しない

停電時のご注意

タイマーを設定したあとに、電源コードを抜いたり停電があると、タイマーの設定は解除されます。
そのときは、もう一度タイマーの設定をやり直してください。
また、一日以上停電があったときは、時計が止まります。
そのときは、もう一度時計合わせと、タイマーの設定をやり直してください。

タイマー再生やタイマー録音を使う

はじめに:

1. 電源コードをつないでおきます。(☞ P.12)
2. 時計を合わせておきます。(☞ P.15)
3. 再生または録音に必要なディスクを入れておきます。
4. ラジオ放送を聞いたり、録音したりするときは、放送局を登録しておきます。(☞ P.21)

お知らせ

- CDやMDのプログラム再生の登録をしているときは、タイマーの設定をすることができません。(ランダム再生でのタイマー動作は可能)

	ボタン	操作	ワンスタイマー	デイリータイマー
1	タイマー/クリア	電源が入った状態で、**押す。**		
2	◀カーソル▶/録音レベル → 決定	1分以内に…**タイマーの種類を選び、決定を押す。**	"ONCE TIMER"(ワンス タイマー)を選ぶ。 ONCE TIMER	"DAILY TIMER"(デイリー タイマー)を選ぶ。 DAILY TIMER ↔ AM 9:30
3	◀カーソル▶/録音レベル → 決定	1分以内に…**項目を選び、決定を押す。**	"ONCE SET"(ワンス セット)を選ぶ。 ONCE SET ↕ ONCE ON	"DAILY SET"(デイリー セット)を選ぶ。 DAILY SET ↕ DAILY ON
4	◀カーソル▶/録音レベル → 決定	**"TIMER PLAY"(タイマー プレイ) または "TIMER REC"(タイマー レコード) を選び、決定を押す。**	TIMER PLAY (タイマー再生を設定するとき) ↕ TIMER REC (タイマー録音を設定するとき)	
5	◀カーソル▶/録音レベル → 決定	**開始時刻の「時」を合わせ、決定を押す。**	ON AM 7:00 「時」	
6	◀カーソル▶/録音レベル → 決定	**開始時刻の「分」を合わせ、決定を押す。**	ON AM 7:30 「分」	
7		**操作5〜6と同じ手順で、終了時刻を設定する。**	OFF AM 8:30	

続けて操作8へ

操作４で、
タイマー再生を選んだとき

8 ◀カーソル▶/録音レベル
決定

聞きたい入力を選び、決定を押す。

CD ←→ MD ←→ TUNER ←→ MOBILE

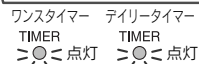
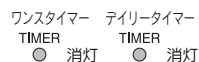
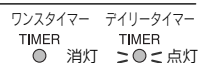
「TUNER」を選んだときは…
希望の放送局を選び、決定を押す。

プリセット番号

9 ◀カーソル▶/録音レベル
決定

音量を調整し、決定を押す。

ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定が終わり、登録された内容が順に表示されます。

10 電源
電源を切る。

	ワンスタイマー TIMER	デイリータイマー TIMER
•電源を切ると…	点灯	点灯
•タイマー開始時刻になると… タイマー再生が始まり、設定した音量まで徐々に大きくなります。	消灯	消灯
•タイマー終了時刻になると… 電源が自動的に切れます。	消灯	点灯

操作４で、
タイマー録音を選んだとき

8 ◀カーソル▶/録音レベル
決定

録音したい入力を選び、決定を押す。

TUNER ←→ MOBILE

「TUNER」を選んだときは…
録音したい放送局を選び、決定を押す。

プリセット番号

9 ◀カーソル▶/録音レベル
決定

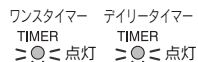
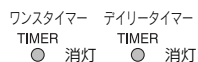
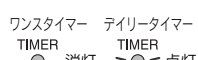
録音モードを選び、決定を押す。
（☞ 録音モード：P.28）

SP ←→ LP2 ←→ LP4 ←→ MONO

10 ◀カーソル▶/録音レベル
決定

音量を調整し、決定を押す。

ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定が終わり、登録された内容が順に表示されます。

11 電源
電源を切る。

	ワンスタイマー TIMER	デイリータイマー TIMER
•電源を切ると…	点灯	点灯
•タイマー開始時刻になると… タイマー録音が始まります。	消灯	消灯
•タイマー終了時刻になると… 電源が自動的に切れます。	消灯	点灯

■設定内容を変更したいときは

52ページから操作をやり直し、新たにタイマーの設定をしてください。

■設定内容を確認または解除したいときは

54ページをごらんください。

お知らせ

- 録音中にワンスタイマーを設定することはできません。
- 操作８で、「MOBILE」を選んだときは、他の機器とこの製品を接続（☞ P.56、58）して、他の機器のタイマーも設定してください。
- 放送局が登録されていないときは、“NO P.SET”と表示され、設定操作ができません。
このときは、放送局を登録したあと、はじめからやり直してください。
- タイマーの開始時刻に電源が入っていると、タイマー再生またはタイマー録音は始まりません。
- グループモードに設定してMDのタイマー再生をすると、電源が切れる前に選んでいたグループの１曲目から再生を始めます。
- グループ録音されたMDにタイマー録音すると、“NON GROUP”に録音されます。
- この製品のタイマー機能を使って、他の機器を操作することはできません。

タイマーの確認や解除、再設定のしかた

設定したタイマーの内容を確認したり、解除したり、もう一度同じ内容で設定したりできます。

1 タイマー/クリア

電源が入った状態で、
押す。

2 ◀カーソル▶/録音レベル → 決定

1分以内に…
タイマーの種類を選び、決定を押す。

ワンスタイマー	デイリータイマー
“ONCE TIMER”を選び、決定を押す。	**“DAILY TIMER”を選び、決定を押す。**
ONCE TIMER	DAILY TIMER

AM 9:30

3 ◀カーソル▶/録音レベル → 決定

1分以内に…
項目を選び、決定を押す。

タイマーの設定を解除したいとき

- 設定を解除すると、タイマーは解除されます。（設定した内容は消えません。）

ワンスタイマー	デイリータイマー
“ONCE OFF”を選び、決定を押す。	**“DAILY OFF”を選び、決定を押す。**
ONCE OFF	DAILY OFF

タイマーの内容を確認したいとき

- 内容を確認したときは、設定内容が順に表示されます。

ワンスタイマー	デイリータイマー
“ONCE CALL”を選び、決定を押す。	**“DAILY CALL”を選び、決定を押す。**
ONCE CALL	DAILY CALL

タイマーの内容を変更したいとき

- 内容を変更したいときは、52ページから操作をやり直し、新たにタイマー設定をしてください。

ワンスタイマー	デイリータイマー
“ONCE SET”を選び、決定を押す。	**“DAILY SET”を選び、決定を押す。**
ONCE SET	DAILY SET

タイマーの設定を解除したあと、再び同じ内容でタイマー設定するには…

タイマーの設定を解除したあとは、“ONCE ON”や“DAILY ON”の表示がでます。
もう一度、同じ内容で再設定するときは、“ONCE ON”または“DAILY ON”を選び、決定を押してください。

ONCE ON	DAILY ON

おやすみタイマーを使う（スリープ）

MD・CD・ラジオ放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。

⇩

スリープ終了時刻になると

再生が終わり、電源が切れます。
終了時間の1分前になると、音量が徐々に小さくなります。
このときに、音量を調整することはできません。

スリープ中にタイマー設定（☞P.52～54）することができます

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマーの開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマーが始まります。

- スリープ中にタイマーの開始時刻がきても、タイマー動作は始まりません。スリープ時間と重ならないようにタイマーの開始時刻を設定してください。

■ スリープ中に残り時間を確認するには

スリープ動作中に、スリープ を押す。

- 約5秒後にもとの表示に戻ります。
- スリープ残り時間が表示されているときに、もう一度スリープを押すと、時間を変更することができます。（☞ **左の操作2**）

■ スリープを解除するには

電源を切ると、スリープは解除されます。

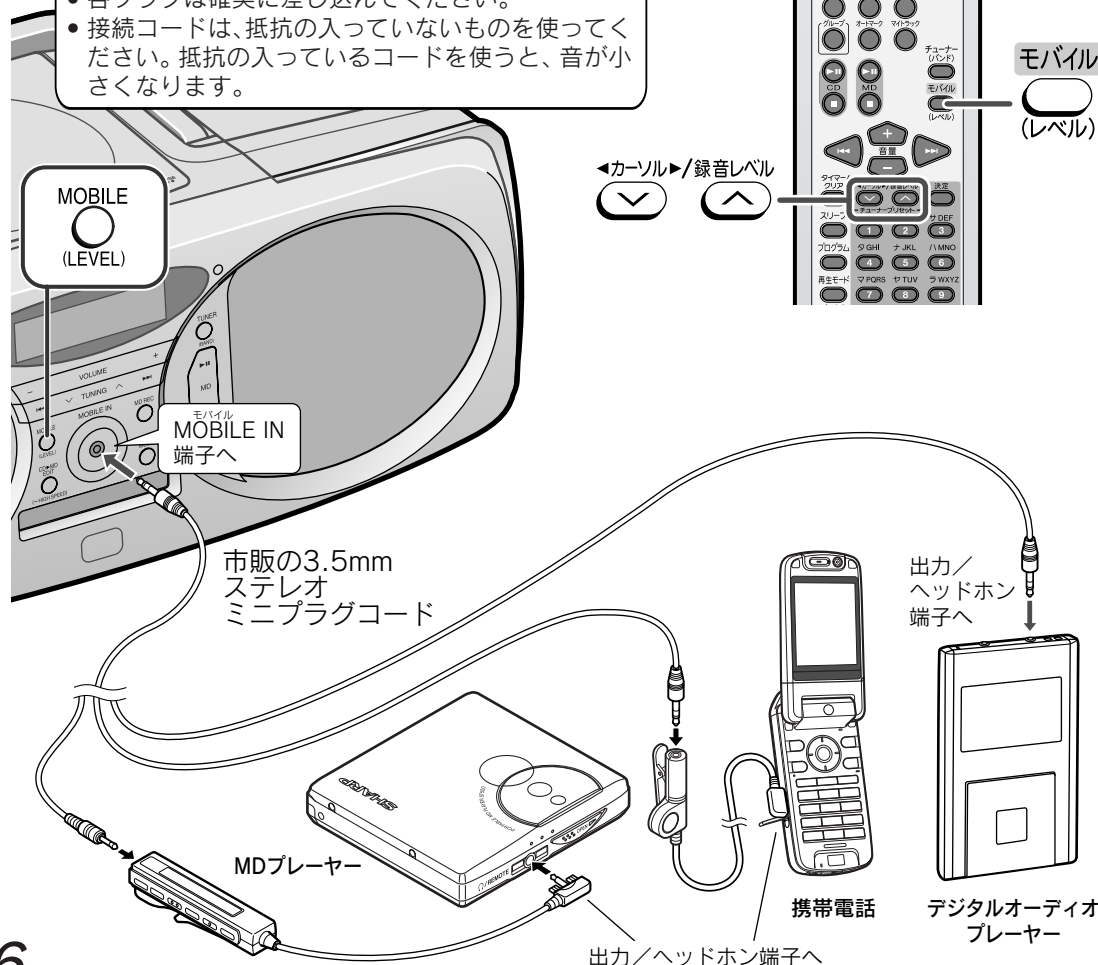
電源を切らないで、解除したいときは、次のようにします。

スリープ動作中に、スリープ をくり返し押して、"SLEEP OFF"（スリープ オフ）を選ぶ。

"SLEEP"（スリープ） 表示が消灯します。

ポータブル機器などの再生音を聞いたり、録音する

接続をする前に

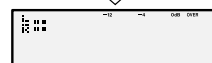
- 接続する機器に合ったプラグのついた接続コードをお選びください。
- 各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。
- 接続コードは、抵抗の入っていないものを使ってください。抵抗の入っているコードを使うと、音が小さくなります。

■ 携帯電話／デジタルオーディオプレーヤー／MDプレーヤーなどの再生音を聞くには

はじめに: 接続した機器の電源を入れる。

1 モバイル(レベル) をくり返し押して、入力モードを選ぶ。

（本体の MOBILE (LEVEL) でも可能）

MOBILE NORM ⇔ MOBILE HIGH

約２秒後にレベルメーター表示になります。

MOBILE NORM:
通常はこのモードで使用します。

MOBILE HIGH:
出力レベルの低い携帯電話などの再生音を聞くときに使用します。

2 接続した機器を再生する。

3 ◀カーソル▶/録音レベル を押して、入力レベルを調整する。

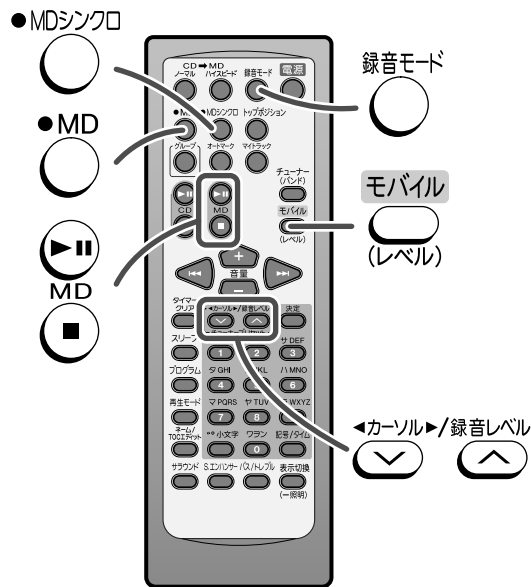
入力レベル（-1 ～ +1）　レベルメーター表示

INPUT +1 ⇨ （レベルメーター）

"0dB"以下に！

- 最も大きなレベルでレベルメーターの最大値が"0dB"をこえないように調整してください。
- 入力レベルは、３段階に調整することができます。

サウンドシンクロ録音を使うと便利

他の機器の再生音と同時に、この製品の録音をスタートさせることができます。

お知らせ

- 録音済みMDの先頭に、曲をあとから録音することができます。
(☞トップポジションエディット P.36)
トップポジションエディットを使用するときは、操作3のあとに トップポジション を押して、"🏴"を点灯させてください。

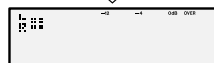
■ 携帯電話／デジタルオーディオプレーヤー／MDプレーヤーなどからMD に録音するとき（サウンドシンクロ録音）

はじめに: 1. 録音用 MD を入れる。
2. 接続した機器の電源を入れる。

1 モバイル(レベル) を押して、入力モードを選ぶ。

（本体の MOBILE(LEVEL) でも可能）

MOBILE NORM ⇔ MOBILE HIGH

約 2 秒後にレベルメーター表示になります。

MOBILE NORM:
通常はこのモードで使用します。

MOBILE HIGH:
出力レベルの低い携帯電話などの再生音を録音するときに使用します。

2 録音レベルを調整する。

❶ **接続した機器を再生する。**

❷ ●MD **を押して、録音の一時停止状態にする。**

❸ ◀カーソル▶/録音レベル ∨ ∧ **を押して、録音レベルを調整する。**

録音レベル –4dB～＋10dB
R. LEV. 0dB

レベルメーター 0dB
オーバー
"0dB" 以下に！

- 最も大きなレベルで "0dB" をこえないようにします。
- 録音レベルは－ 4dB から＋ 10dB まで、2dBステップで調整することができます。

❹ **接続した機器を停止する。**

❺ MD ■ **を押す。**

3 録音モード **を押して、録音モードを選ぶ。**

(☞ P.28)

4 ●MDシンクロ **を押して、サウンドシンクロ録音モードにする。**

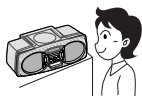
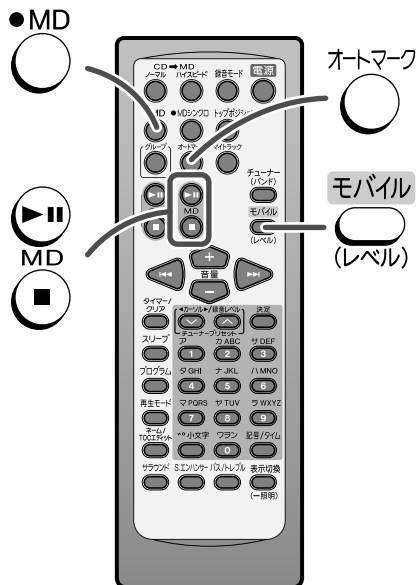
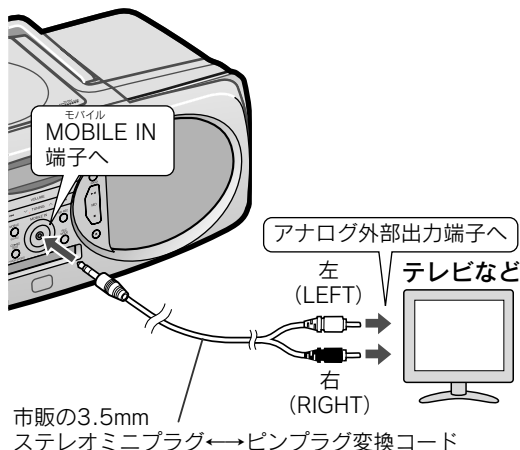
S-SYNC 点灯

5 接続した機器を再生すると、録音が開始されます。

- オートマークの設定に関係なく再生音に１秒以上の無音があると曲番がつきます。
- 録音中に ►II MD を押しても一時停止することはできません。
- 再生音が入力されなくなると、録音は一時停止し、再生音が入力されると、再び録音が始まります。
- 他のMDプレーヤーから録音したときに、MDのディスク名や曲名は、録音と同時には記録されません。録音したあとで、ネームメモ／ネームコピー（☞ P.44）を使うと、ディスク名や曲名をコピーすることができます。

録音を停止するには

MD ■ **を押す。**

サウンドシンクロ録音モードが解除されます。

■テレビなどの音声を MD に録音するとき（マニュアル録音）

はじめに: 1. 録音用 MD を入れる。
2. 接続した機器の電源を入れる。

1 **録音の準備をする。**
(☞ P.57　手順 1 ～ 3)

2 **オートマーク ◯ をくり返し押して、曲番のつけかたを選ぶ。**(☞ P.35)

→A.MARK OFF → A.MARK ON → T.MARK-5 → T.MARK-10 →（A.MARK OFF に戻る）

- 「A.MARK ON」にしたときは、再生音に 1 秒以上の無音があると、曲番がつきます。
- 「A.MARK ON」で録音中に雑音が多いときは、曲番が正しくつかないことがあります。このときは、「A.MARK OFF」で録音してください。

3 **●MD ◯ を押して、録音の待機状態にする。**

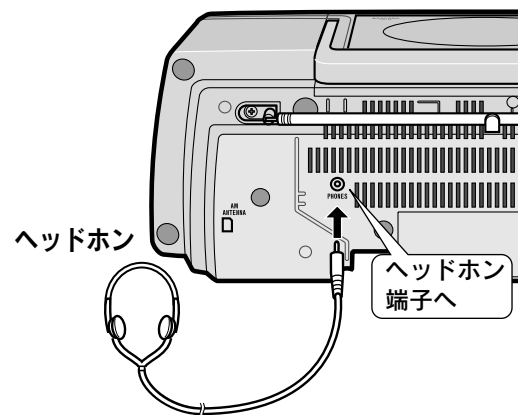
4 **⏯ MD を押して、録音を開始する。**

5 **接続した機器を再生する。**

録音を一時停止するには

⏯ MD を押す。
再び録音を始めるには、もう一度押します。

録音を停止するには

MD ■ を押す。

■ ヘッドホンで聞く

- プラグを抜き差しするときは、音量を下げてから行ってください。
- インピーダンス16～50Ω（推奨32Ω）で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

ＣＤについて

■ 再生できるディスクは？

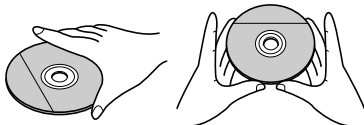
ディスク	
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable CD-R　COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable CD-RW	音声

ディスクレーベル面に左記マークの入ったものなど、JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。

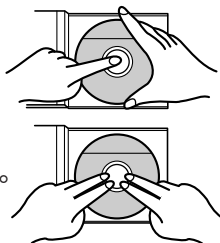
ご注意

- CD-R・CD-RWは、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。そのときは、CD-R・CD-RWを録音する機器の録音スピードや、使用するディスクを換えてみると再生できることがあります。くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。
- 本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロールCD」や「Dual Disc」の音楽再生面などについて動作や音質を保証できません。このような特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

■ ディスクを持つときは？

再生面に触れないでください。
必ずふちを持ってください。
汚れやホコリ、キズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。

■ ケースからの出し入れは？

出すとき
センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って出します。

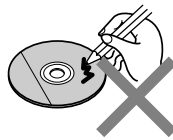
入れるとき
印刷面を上にして、上から押さえて入れます。

■ お手入れ

再生面に汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。
矢印と反対の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくと、キズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

■ 取り扱い上のご注意

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。

ラベルやシールを貼らないでください。

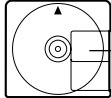
セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。 そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

特殊形状（ハート型・八角形やふち取りをしているものなど）のディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。

■ 保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

MDについて

■ 種類について

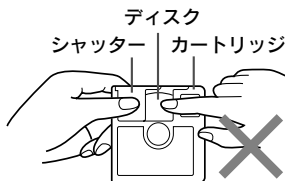
MD には、再生専用と録音・再生用があります。

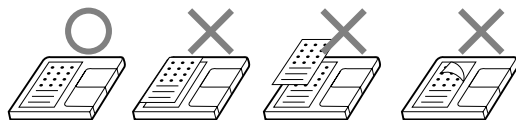
再生専用MD	録音・再生用MD
ラベル **シャッターが片面（裏面）にあります。** 市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクを使っています。**録音や編集はできません。**	**シャッターが両面にあります。** 録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

■ 取り扱いについて

カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

ディスクに直接触れないで！

シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
シャッターは無理に開けると壊れます。

■ ラベルを貼り付けるときのお願い

正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

■ お手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

■ 保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

■ ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding ）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約 1/5 に圧縮します。聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では、音楽データを約 1/10 または 1/20 に圧縮する ATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。
この方式を用いることにより、2 倍・4 倍のステレオ長時間録音を可能としています。

■ 音とびガードメモリー

再生中は常に半導体メモリーに約40秒間の情報を蓄積します。
このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって、音が途切れることなく再生することができます。

MDのシステム上の制約

こんなとき	意　味
MD の最大録音時間に満たなくても“DISC FULL”（ディスク フル）が表示されることがあります。	・ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。 ・最大録音曲数（255 曲）まで録音された MD は、それ以上録音することはできません。
MD の最大録音曲数（２５５曲）に満たなくても“TOC FULL”（トック フル）が表示されることがあります。	・MD システムでは、TOC（トック）に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。 何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大（255 曲）にならなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 このようなMDは、全曲消去し、一度“BLANK MD”（ブランク）にすると、最初から使用できます。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。	・MD の録音残り時間を表示するとき、短い曲（ステレオ録音：12 秒、モノラル録音・２倍長時間録音：24 秒、４倍長時間録音：48 秒）は、曲として数えられないことがあります。
MD に録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。	・通常は、１クラスタ（約２秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約２秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は録音不可となるため、録音時間が少なくなります。（各秒数は、ステレオ録音（SP）時の値です。録音モードにより異なります。）
編集で曲と曲をつなげられないことがあります。	・録音、編集をくり返して行ったMDでは、曲をつなげないことがあります。 ・デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐことはできません。 ・録音モード（モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがあります。	・録音、編集をくり返して行った MD では、早送り / 早戻し中に音がとぎれることがあります。
タイトルの先頭に“LP:”を入力すると表示されないことがあります。	・2倍、4倍長時間録音（LP2･LP4）した曲の曲名の先頭に“**LP:**”を入力すると、“**LP:**”が表示されません。“**LP**”のあとに“**:**”以外の記号や文字を入力してください。

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

■ 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。

■ 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会　☎(03)3261-3444

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481－2121	横浜支部	☎(045) 662－6551
北海道支部	☎(011) 221－5088	静岡支部	☎(054) 254－2621
盛岡支部	☎(019) 652－3201	中部支部	☎(052) 583－7590
仙台支部	☎(022) 264－2266	北陸支部	☎(076) 221－3602
長野支部	☎(026) 225－7111	京都支部	☎(075) 251－0134
大宮支部	☎(048) 643－5461	大阪支部	☎(06) 6244－0351
上野支部	☎(03) 3832－1033	神戸支部	☎(078) 322－0561
東京支部	☎(03) 3562－4455	中国支部	☎(082) 249－6362
西東京支部	☎(03) 5321－9530	四国支部	☎(087) 821－9191
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5321－9881	九州支部	☎(092) 441－2285
		鹿児島支部	☎(099) 224－6211
立川支部	☎(042) 529－1500	那覇支部	☎(098) 863－1228

	質　問	回　答
一般	電源コードを抜くと、時計は止まるの？	約 1 日以上たつと時計の設定は消えます。☞ P.15
一般	リモコン用乾電池の寿命はどのくらいですか？	通常のご使用で約 1 年です。（動作が不安定になったときは、早めに交換してください。）☞ P.13
一般	「デモ表示」って何ですか？ <<DEMO>>	電源を切ったときに、表示部が自動的に点灯し、いろいろな表示内容に変わることをデモ表示と呼びます。☞ P.14
聞く	どんな CD が再生できるの？	一般の CD 以外にも、音楽用 CD-R・CD-RW に録音された曲を聞くことができます。ただし、MP3 や WMA などのフォーマットで録音されたディスクは再生できません。
聞く	80 分 MD は使えるの？	80 分 MD は、録音も再生も使えます。
聞く	Hi-MD は使えるの？	Hi-MD は使えません。☞ P.65
聞く	CD・MD の曲名やディスク名は表示されますか？ BEST HIT	CD は表示されません。 MD はカタカナや英数文字で入力されている場合、表示されます。 （CD TEXT には対応していません。）
聞く	テレビ音声は聞けるの？	地上波アナログ 1 ～ 3 チャンネルのみです。 地上波デジタル放送は聞けません。

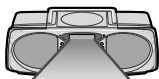
	質　問	回　答
録音	「LP2」や「LP4」って何ですか？	MD に標準の 2 倍または 4 倍長い時間ステレオ音声で録音することができる、長時間録音のモードです。☞ P.28
録音	「オートマーク」って何ですか？	ラジオ放送や他の機器から MD に録音中に曲番を自動で記録することです。 録音を始める前に設定を選ぶことによって、曲番のつけ方を変えることができます。☞ P.35
録音	MD に録音した日時を記録することができますか？	日付と時刻を合わせておくと、録音日時が MD に記録されます。☞ P.25
録音	「TOC」って何ですか？	録音情報を記録した、MD 内の目次です。☞ P.26
録音	CD-R や CD-RW から MD に録音するとき“Can't（キャント） COPY（コピー）”と表示されるのですが？	デジタル録音が規制されています。録音モードを“ANALOG（アナログ）”に切り換えて録音してください。☞ P.31
録音	「グループ録音」って何ですか？	MD の中をグループ分けできる機能です。☞ P.38 ～ 39
録音	録音中に音量や音質を変えたらどうなりますか？	スピーカーから聞こえる音量や音質は、録音される音には影響しません。☞ P.26
タイマー	「ワンスタイマー」って何ですか？	1 回のみのタイマーです。 タイマー録音に便利です。☞ P.51
タイマー	「デイリータイマー」って何ですか？	毎日働くタイマーです。 毎朝の目覚ましに便利です。☞ P.51

こんな表示が出たときは

表　示	意　味
BLANK MD	MD に何も記録されていない。
Can't COPY	・コピー禁止の CD から MD に録音しようとした。 →アナログ録音してみてください。（☞ P.31） ・ネームコピーができない。
Can't EDIT	MD 編集できない。→別の曲を編集してみてください。
Can't READ ※ （※は数字や記号です。）	・ディスク情報が読めない。 ・規格外の CD や MD を入れた。 ・「Hi-MD」ディスクを入れた。（☞ P.65） →CD や MD を入れ直すか、取り換えてください。それでもエラー表示が出るときは、お買い上げの販売店に修理をお申しつけください。
Can't REC	ショックやディスクのキズで正しく MD に録音できなかった。 →録音をやり直すか、MD を換えてください。
Can't T REC	タイマー録音ができない。または、MDに録音できる空きがない。
Can't WRITE	ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。
CD NO DISC	CD が入っていない。
DISC FULL	MD に録音できる空きがない。
EDIT OVER	MD の録音時間が足りない。または、マイトラックエディットで 21 曲以上登録しようとした。
Er-CD ※※ （※※は数字や記号です。）	CD が正しく働いていない。 →電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
Er-MD ※※ （※※は数字や記号です。）	MD が正しく働いていない。 →電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
GROUP DISC	グループ録音したMDをグループモードに設定しないで編集をしようとした。
GROUP FULL	グループ数が99をこえている。

表　示	意　味
Hi MD Disc	Hi-MD フォーマットしたディスクを録音・再生しようとした。
MD NO DISC	MD が入っていない。
NAME FULL	ディスク名・グループ名・曲名が 40 文字をこえている。
NO NAME	タイトルがないのにネームメモしようとした。
NO TRACK	再生、編集する曲がない。 →曲のあるグループ、ノングループを選んでください。
NOT AUDIO	オーディオ用でないデータが記録されている。 → CD や MD を取り換えてください。
PLAYBACK MD	再生専用 MD に録音や編集をしようとした。
PROTECTED	MD が誤消去防止になっている。
TEMP OVER	温度が高くなりすぎた。 →電源を切ってしばらく置いてください。
TOC FORM ※※ （※※は数字や記号です。）	記録されている TOC 情報に異常があり、読めない。 MD 録音や編集操作ができない。 →オールイレースをし、録音をやり直してください。
TOC FULL	曲番を登録する空きがない。
TOC FULL 1	TOC に文字情報を登録する空きがない。 または、グループ録音ができない。 →不要なディスク名・グループ名・曲名を消すか、他の MD と取り換えてください。
WAIT ※※ m GUARD （※※は数字です。）	ハイスピードで MD に録音ができない。 →表示された時間だけ録音を待つか、ノーマルスピードで録音してください。
? DISC	音楽以外（データなど）が入った MD を使用した。 （データなどが入った MD は再生できません。）
? Gr. Form ↓ NewForm.OK?	グループ録音やグループ編集ができない。 →ディスク名を消してやり直してください。 （☞ P.39）
電源が切れて TIMER ☀ が点滅	保護回路が働いた。 （しばらくして電源を入れてみる。それでも点滅するときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。）

「故障かな？」と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、68ページの「**保証とアフターサービス**」をごらんのうえ修理を依頼してください。

共通

スピーカーから音が出ない。

→音量が“0”になっていませんか？ ☞ P.22
→ハイスピードで録音していませんか？ ☞ P.27
→ヘッドホンをつないでいませんか？ ☞ P.58

再生中に雑音が出る。

→テレビ・パソコン・携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。

→一度、電源を切り、操作をやり直してください。
それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。
☞ P.66

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。

→室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

**タイマー再生やタイマー録音が動作しない。
また、時刻が表示されない。**

→デイリータイマーとワンスタイマーの設定時刻が重なっていませんか？
それぞれのタイマー動作の時間を1分以上間をあけてください。☞ P.51
→タイマーの設定をしたあとに、電源コードを抜いたり停電などはありませんでしたか？
もう一度タイマーの設定をやり直してください。☞ P.51～53
→電源は入ったままになっていませんか？
タイマー動作の開始時刻に電源が入っていると、タイマー動作は始まりません。
→リセット操作をしませんでしたか？
そのときは、時計合わせとタイマーの設定をやり直してください。
☞ P.15、P.52 ～ 54

共通

表示部が暗い。

→リモコンの表示切換ボタンを押し“DIMMER（ディマー） OFF（オフ）”を選んでください。 ☞ P.14

電源を切っているのに、表示部が点灯している。

→デモ表示になっていませんか？
デモ表示を解除してください。 ☞ P.14

電源が入らない。

→電源コードはつながっていますか？ ☞ P.12

CD

CDを入れても“CD NO（ノー） DISC（ディスク）”や“Can't（キャント） READ（リード）”が表示される。または、再生音がとぎれる。

→CDの裏表をまちがえていませんか？
→汚れやキズがありませんか？
→規格外のCDを使用していませんか？
→振動の多い不安定な場所で使用していませんか？
→つゆつき現象が起きていませんか？ ☞ P.66

操作ボタンを押しても動作をしない。また、曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。

→CDに汚れやキズがありませんか？
→規格外のCDを使用していませんか？
→振動の多い不安定な場所で使用していませんか？
→つゆつき現象が起きていませんか？ ☞ P.66

MD

MDを入れても"MD NO DISC"や"Can't READ"、"Hi MD DISC"が表示される。または、再生音がとぎれる。

→ディスクにキズがついていませんか？
→振動の多い不安定な場所で使用していませんか？
→つゆつき現象が起きていませんか？ ☞ P.66
→Hi-MDを使用していませんか？
この製品では「Hi-MD」ディスクや「Hi-MD」フォーマットされたディスクを再生することはできません。

録音ができない。

→MDの誤消去防止ツマミが開いていませんか？
☞ P.26
→再生専用MDに録音しようとしていませんか？
☞ P.60
→"DISC FULL"や"TOC FULL"になっていませんか？
☞ P.63
→Hi-MDを使用していませんか？
この製品では「Hi-MD」ディスクや「Hi-MD」フォーマットされたディスクに録音することはできません。

グループ録音したMDでグループが使えなくなった。また、グループ名の表示が正しく表示されない。

→他の機器でTOCデータが書きかえられた可能性があります。

ラジオ

放送に"シー"、"ザー"という連続音が入る。

→テレビやコンピューター、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
→アンテナの方向が悪くありませんか？ ☞ P.20

放送がよく受信できない。雑音が多い。

→アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。

登録した放送局を呼び出すことができない。

→リセット操作をしませんでしたか？
登録し直してください。 ☞ P.21
→一日以上電源コードを抜いていたり、停電などはありませんでしたか？
登録し直してください。 ☞ P.21

リモコン

リモコンで操作できない。または、正しい動作をしない。

→乾電池の⊕⊖の向きが逆になっていませんか？
☞ P.13
→乾電池が消耗していませんか？
→リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか？ ☞ P.13
→リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか？
または、近すぎませんか？ ☞ P.13
→リモコンセンサーに強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか？
→他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？

リモコンで電源が入らない。

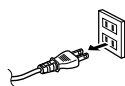
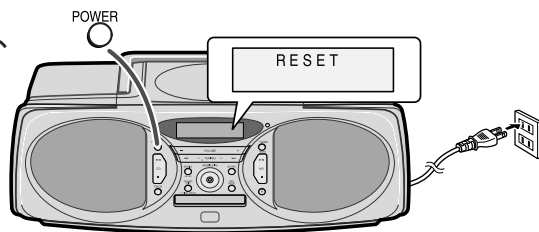
→電源コードはつながっていますか？ ☞ P.12
→乾電池は入っていますか？ ☞ P.13

「故障かな？」と思ったら（続き）

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

1 **電源コードをコンセントから抜く。**

2 **POWER ◯ を押したまま、電源コードを差し込む。**

“RESET（リセット）”が約 1 秒間表示されたあと、電源が切れます。

ご注意

リセット操作をすると、登録した内容はすべて消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。
- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。
つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

お手入れについて

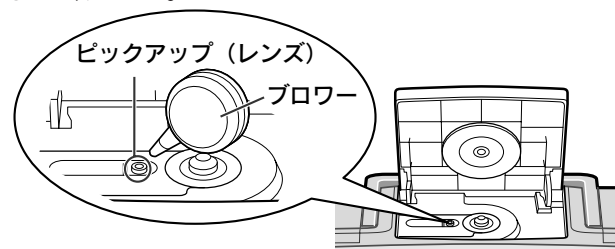
本体表面

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- **ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。**
  また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。
  表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。
- 油をささないでください。故障の原因となります。

CD ピックアップ

ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、正しく動作をしないことがあります。
ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブロワーなどで清掃してください。

ご注意

- **ピックアップ（レンズ）は手でさわらないように気をつけてください。**
- 使わないときは、CD ブタを閉じておいてください。
- レンズにキズをつけないように気をつけてください。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

コンパクトディスクプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20～20,000 Hz（+1/-3dB）(JEITA)※
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下 (JEITA)※

ミニディスク部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約400～1,350 rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード（ACIRC）
音声圧縮/伸長方式	ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding) / ATRAC3 (MDLP)24ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル1チャンネル
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20～20,000 Hz（+1/-3dB）(JEITA)※
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下 (JEITA)※

チューナー部

受信周波数	FM：76.0～108.0 MHz（TV音声 1～3CH） AM：522～1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM：ロッドアンテナ AM：専用ループアンテナ（付属）

タイマー・時計部

形式	日付機能つきデジタルクロック
タイマー	デイリータイマー/ワンスタイマー/スリープタイマー

リモコン部

電源	DC 3 V（付属単3乾電池×2個）

共通部

アンプ方式	2.8 MHz サンプリング 1 ビットデジタルアンプ方式
A/D ノイズシェーピング	7 次 ⊿Σ（デルタシグマ）変調
実用最大出力	5 W + 5 W (JEITA ※)
スピーカー	8 cm フルレンジスピーカー（4 Ω）× 2
出力端子	ヘッドホン出力：16 ～ 50 Ω（推奨 32 Ω） 直径 3.5 mm ステレオミニジャック× 1
入力端子	モバイル入力(アナログ) ノーマル:500 mV／ハイ:100 mV 直径3.5 mmステレオミニジャック×1
アンテナ端子	AM 専用ソケット
その他の端子	AC ソケット（100 V AC）× 1
電源	100 V AC、50/60 Hz
消費電力	AC 26 W（待機時消費電力：0.12W）
最大外形寸法	431（幅）× 151（高さ）× 231（奥行）mm (JEITA ※)
質量	約 4.4kg

※ JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書（裏表紙）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、１ビットMD/CDシステムの補修用性能部品を、製品の製造打切後８年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**69ページ**）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

「**“故障かな？”と思ったら**」（**64～66ページ**）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　　ー

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- **製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・修理相談センター へ**
- **製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・お客様相談センター へ**

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0120-078-178

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

東日本相談室	TEL 043-351-1821	FAX 043-299-8280
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL 06-6792-1582	FAX 06-6792-5993
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

- FAX送信される場合は、お客様へのスムーズは対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
（注）PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ PHS／IP電話でのご利用は・・・・・・・	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・	（Ｆ Ａ Ｘ）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神 サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

シャープ商品の修理・お取り扱い・お手入れのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へお申し出ください。
※なお、転居されたり贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、以下のサービスをご利用ください。

不具合品の訪問引き取り・修理・お届けサービス《修理品引き取りサービス》のご案内

修理品引き取りサービスとはお持込いただける商品を、電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無料
保証期間外	有料

■修理料金

保証期間内	無料 (保証書記載の「保証規定」に準じます)
保証期間外	有料 (修理内容により異なります)

※保証期間内でも有料となる場合があります。
詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み

「修理相談センター」にお電話でお申し込みください。

0570-02-4649

・受付時間　月曜～土曜：午前9時～午後6時
　　　　　　日曜／祝日：午前10時～午後5時
年末年始及び天災などやむをえない状況の際は臨時に休ませていただくことがありますので予めご了承ください。
・ナビダイヤルは、全国一律料金でご利用いただけます。
・PHS・IP電話からは下記の一般電話におかけください。
・ファクシミリを送信される方は、下記 FAX受信専用番号にお願いします。

	東日本エリア	西日本エリア
一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
専用ＦＡＸ	043-299-3865	06-6792-3221

電話番号をお確かめの上、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者（ヤマト運輸）がお引取りに伺います。

・お引取り時間は下記時間帯よりお選び頂くことができます。
ＡＭ/12時～14時/14時～16時/16時～18時/18時～21時
・お引取り日はご依頼日の翌日以降となります。
・交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし梱包させて頂きます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）より
ご連絡いたします。

・ご連絡時にサービス料金（修理料金＋利用料）と発送日をご連絡いたします。
・ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
・サービス料金（修理料金＋利用料）をヤマト運輸に現金でお支払いください。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問日が変動します。

〈無 料 修 理 規 定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ） 本書のご提示がない場合。
   （ロ） 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ） 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ） お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ） 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   （ヘ） 一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障・損傷。
   （ト） 消耗部品（乾電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ） 電池の液漏れによる故障・損傷。
   （リ） 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は
0120-078-178	東日本相談室 TEL 043-351-1821 FAX 043-299-8280 西日本相談室 TEL 06-6792-1582 FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　日曜・祝日：午前１０時～午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥	69 ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。
● シャープホームページ	**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522
大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193
栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia
TINSJA070AWZZ
06HR TT ④